

a&S

JAPAN

- | 特集 SMB市場
- | 製品特集 HD-SDIと960H
- | 業種別市場 病院のセキュリティ

安全と安心はプライスレス



FLIR FCシリーズS

極めて低価格 ネットワーク統合可能な固定型 赤外線サーマルカメラ



Axis Communications' Academy 映像監視の専門トレーニング、開講

製品販売や選定方法、設置、保守、Axis 製品の概要、 実機を使った実習などのトレーニングとセミナー

Axisでは、ネットワークビデオによる映像監視システムの構築を行うシステムエンジニア、コンサルタント、設置業者、保守・運営業者の皆様を対象とした専門トレーニング「Axis Communications' Academy」を開講しております。

アナログCCTVを取り扱っている方、ITシステムを構築する方、いずれの立場からでも適切な知識を習得できるよう、レベル別に豊富なコースを揃えています。

初級レベル:

必須となる営業情報をまとめた「ビジネスエッセンシャルズ」
100機種以上のAxis製品の特長や強みを理解する「製品知識エッセンシャルズ」
運用保守に必要な知識を習得する「テクニカルサポートセミナー」

中級レベル:

体系的理解と実機を用いた実習による「ネットワークビデオ ファundamentals」(2日間・有償)
Axisのビデオエンコーダを理解するための技術コース「ビデオエンコーダテクノロジー」(有償)

上級レベル:

映像監視ソリューションを設計するための知識を習得する「ネットワークビデオソリューションの設計」(有償)

資格制度:

ネットワークビデオの専門知識を証明する「Axis認定プログラム」(世界共通)



目次

a&S JAPAN Aaa/Aaa. 2013
2013年09-10月号 No.36



表紙解説

FLIR FCシリーズ 4-5

特集

SMB市場 14

製品特集

HD-SDIと960H 18

業種別市場

病院のセキュリティ 26

連載

指静脈認証 42

市場慧眼 よくわかるIPネットワーク 40

イベント情報

GDSF JAPAN 2013直前情報 43

ビデオテクニカ 48

ヨネイ 49

展示会、プライベートショー日程 50

新製品情報

サンシステムサプライ 52-53

アクシスコミュニケーションズ 51

ソニー 54,55

新製品欄

CCTV、入退管理、その他 58

国内産業ニュース	6
海外産業ニュース	10
読者の声	60

広告主名(ABC順)	掲載ページ
アクシスコミュニケーションズ	表二
BOSCH SECURITY SYSTEMS	7
DYNACOLOR JAPAN	21
フィットデザインシステム	42
フリーアシステムズジャパン	表一、4-5
GDSF JAPAN 2013	25、31
ジャバテル	3、13
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	47、57
日本経済新聞社	表三
ソニー	9
サンシステムサプライ	11
店舗プランニング	33、表四
VIVOTEK	センター見開き

次号案内

2013年11／12月号(11月10日発行予定)

特集

セキュリティ設備

製品特集

映像解析

業種別市場

データセンタ

連載

連載市場慧眼、指静脈認証

(誌面の都合上、変更になることがあります)

a&s JAPAN

©ASJ社 2012年09-10月号 No.36

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 新日本印刷

a&s JAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&s Asiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

ASJ社

Advanced Security Journal Corporation

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階 〒101-0041

電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

■広告に関するお問い合わせは

E-mail：komori@asj-corp.jp

■購読に関するお問い合わせは

E-mail：reader@asj-corp.jp

■記事情報提供に関するお問い合わせは

E-mail：info@asj-corp.jp

■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス

当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。

これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

次世代VMS必須の要件とはなんでしよう。

それは一人一人、一社一社とニーズは違っても、
最終的には経営の根幹的プラットフォームの一つになり得る事です。
そして極小規模から巨大なシステムまでシームレスに。

- メディアルーター、リダイレクターで数万カメラ、数千クライアント保証
- マルチベンダー ip カメラ、業界初 ONVIF Profile S 準拠
- スマートフォンカメラ機能「ドコかめ[®]」
- アクセスコントロール
- LPR (自動車ナンバー読取)
- IP-PBX (SIP) インターフォン
- 画像解析
- 侵入監視
- 資産管理
- 高度なSDK (ネイティブ.net から .net マクロまで) による各種システムとの統合をサポート。

それが Genetec 社
Security Center です。

ONVIF Profile S 準拠により、ONVIF で画像解析、音声、I/O をサポート。
Canon 社モデル VB-H41 で上記機能を利用可能。

あなたの欲しいがある。 www.javatel.co.jp ◆お問い合わせメール info@javatel.co.jp

Javatel

Video Intelligence

株式会社ジャバテル

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834

会社案内とご挨拶

ジャバテルは個人、企業、国家機関などの生命と財産を守る為の高度なセキュリティシステム、企業の品質、生産性の向上、利益を最大限、損失を最小限にする為のソリューションを提供しています。

世界No.1 東京スカイツリーの監視セキュリティにGENETEC社のOMNICASTが採用されました。700台弱のメガピクセル・カメラをシームレス統合した世界クラスのセキュリティを実現しています。

FLIR FCシリーズS

リーズナブルかつネットワーク構築可能な固定式カメラ

FCシリーズS赤外線サーマルカメラは、暗闇や悪天候の中で、侵入者の脅威から施設を守ります。デジタルないしアナログネットワークでコントロールおよび操作が可能です。FCシリーズSは、320×240および高解像度の640×480から用途に合わせて仕様をお選びいただくことができます。



一本のケーブルで通信と電力供給が可能

- ・標準のPoE – IEEE 802.3af PSE：除氷機能付きで完全動作
- ・PoE+ – IEEE 802.3af PSE：極寒・凍結地での除氷、100%動作に対応



IPコントロール

FCシリーズSは、PCを使うことにより既存のTCP/IPネットワークで操作することができます。ケーブルの追加は不要です。ネットワーク構築が可能なので、数千km離れた場所からでもモニタリングが可能です。直感的なウェブインターフェースにより、カメラを簡単に操作・調整できます。



ビデオストリーミング

デジタルビデオを複数チャンネルでストリーミングできます(H.264、MPEG-4、M-JPEGフォーマット)。デジタルおよびコンポジットビデオの同時出力が可能です。



サンシールド

太陽光や雨からカメラを守ります。



IP67

過酷な環境での使用を想定した設計

バイタルコアはしっかり保護されています(最大IP67)。隠しケーブルマウントを使用する場合、FCシリーズSの等級はIP66となります。



フリーセンサーマネージャー(FSM)

FCシリーズSカメラには、フリーセンサーマネージャーが標準で付属しています。この直感的なソフトウェアにより、FCシリーズSカメラをTCP/IPネットワークで操作することが可能になります。



カメラ本体



検出素子

保証期間の延長は製品登録後適応となります。

豊富なオプションレンズ

FCシリーズSバージョンには豊富なレンズを取り揃えています。

	レンズ種類
320×240ピクセル*	FC-363 S : 7.5mm レンズ – FOV : 63° (H) × 50° (V)
	FC-348 S : 9mm レンズ – FOV : 48° (H) × 39° (V)
	FC-334 S : 13mm レンズ – FOV : 34° (H) × 28° (V)
	FC-324 S : 19mm レンズ – FOV : 24° (H) × 19° (V)
	FC-313 S : 35mm レンズ – FOV : 13° (H) × 10° (V)
640×480ピクセルF	FC-309 S : 35mm レンズ – FOV : 9° (H) × 7° (V)
	C-690 S : 7.5mm レンズ – FOV : 90° (H) × 69° (V)
	FC-669 S : 9mm レンズ – FOV : 69° (H) × 56° (V)
	FC-645 S : 13mm レンズ – FOV : 45° (H) × 37° (V)
	FC-632 S : 19mm レンズ – FOV : 32° (H) × 26° (V)
	FC-618 S : 35mm レンズ – FOV : 18° (H) × 14° (V)

* 320×240ピクセルのFCシリーズS赤外線サーマルカメラには、ピクセルピッチ25 μ mの非冷却マイクロボロメーター検出器が搭載されています。ただし、FC-309 Sを除きます(ピクセルピッチ17 μ mの非冷却マイクロボロメーター検出器を搭載)。

FCシリーズSでは、様々な設置オプションをご利用いただけます。このペDESTALマウントのオプションは、軒、トンネルの天井、橋面の下などの頭上部分や棚・壁に設置する場合に最適です。

FCシリーズSでは、隠しケーブルマウント・アームブラケットのオプションもご用意しています。この可動マウントは、どんな環境でも簡単に設置できます。このブラケットを使って設置する場合、カメラの保護構造はIP66になります。



製品に関するお問い合わせ先

フリーアシステムズジャパン株式会社

〒141-0021

東京都品川区上大崎2-13-17目黒東急ビル5F

Tel.: 03-6721-6648 Fax: 03-6721-7946

e-mail: www.flir.com



日立システムズなど、日本と東南アジアのセキュリティ事業強化でソリューションを提供

日立システムズと日立システムズのグループ会社である Hitachi Sunway Information Systems Sdn. Bhd. (日立サンウェイ)は、日本と東南アジアにおけるセキュリティ事業強化のため、マレーシアのe-Lock Corporation Sdn Bhd(イーロック社)と協業し、イーロック社のWebサイト改ざん防止セキュリティパッケージ「WebALARM(ウェブアラーム)」を活用したWebセキュリティ対策ソリューションを、日本では日立システムズが、東南アジアでは日立サンウェイが同時に提供を開始する。

イーロック社は、「WebALARM」など多様なセキュリティ製品の販売に加え、セキュリティに関するコンサルティングや脆弱性診断などのサービスを提供しており、日本やマレーシアを含め世界各国に多くの顧客を有している。

日立システムズは、顧客の情報資産を守るため、セキュリティ導入時のコンサルテーションからシステムの構築、運用までセキュリティに精通した技術者がワンストップで応えるセキュリティソリューション「SHIELD(シールド)」を提供。また、

SHIELDでは、Security Operation Centerを活用し24時間365日のセキュリティ運用・監視サービスを提供している。

日立サンウェイは、マレーシアの本社に加え、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシアに子会社を有し、東南アジアでセキュリティソリューションやITインフラの構築を含むITサービス事業を展開している。

こうした背景を踏まえ、日立システムズと日立サンウェイは、Webセキュリティ対策ソリューションの分野でイーロック社と協業。イーロック社の「WebALARM」は、モニタリング(監視)、自動リカバリ、アラート、監査と証拠保全、データアップデート管理などの機能を備え、全世界で1800件以上導入されている。日立システムズと日立サンウェイは、セキュリティソリューション「SHIELD」のラインアップの一つとして日本および東南アジアで「WebALARM」を販売・導入するほか、「SHIELD Webセキュリティ on-Demand」など、関連するサービスを組み合わせ、顧客のニーズに適したソリューションを提供する。

日本経済新聞社、SECURITY SHOW 2014の開催概要を発表

第22回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2014」の概要が発表された。同展は国内最大級のセキュリティ総合展で、2014年はこれまでの総合セキュリティゾーンとIPネットワークカメラゾーンそして特別企画展「労働安全EXPO」に加えて、ハイセキュリティゾーンを新設する。新ゾーンは、高度なセキュリティが求められる重要施設やインフラ設備を守るための製品を展示するエリアとなる。対象製品としては、高

精細監視カメラや車両侵入防止、生体認証や危険物・爆発物探知、サイバーテロ対策などが挙げられる。

SECURITY SHOW 2014は「NIKKEI MESSE街づくり・店づくり総合展」を構成する展示会の1つで、その他にリテールテックJAPANやNFC & Smart WORLDなどの関連する展示会も同時に開催される。

矢野経済研究所、世界ネットワークカメラ市場の調査結果を発表

矢野経済研究所は、世界のネットワークカメラ市場に関する調査結果2013を発表した。本報告書によると、アジア・中東圏で高成長が見込まれ、2015年のネットワークカメラ世界市場を575万台と予測している。

また、日本市場については、2012年の日本のネットワークカメラ市場規模は前年比118.2%で39万台、2009年から2015年までの年平均成長率を118.8%と予測している。さらに、監視カメラ市場でのカメラ出荷台数について、2015年にはネッ

トワークカメラがアナログカメラの上回ると推測している。

さらに、世界ネットワークカメラ市場ではアジアメーカの低価格製品が参入してきており、既に価格競争が展開されている。こうした中で日本のカメラメーカが世界市場で生き残るためには、監視カメラ単体での販売ではなく、画像解析機能等を含めたソリューション・ビジネスとしてネットワークカメラ事業を推進していくことだと指摘している。

**BOSCH**

Invented for life

Bosch Security Systemsが、 株式会社店舗プランニングと販売代理店契約を締結！

店舗プランニングとの販売代理店契約により、 Bosch Security Systemsの販売チャンネルがさらに拡大！

Bosch Security Systemsは、2013年7月1日、セキュリティシステムプロバイダー企業である株式会社店舗プランニングと、Boschセキュリティ製品に関する販売代理契約を締結しました。今回の契約締結により、店舗プランニングは、IPネットワーク機器を中心に、Boschセキュリティ製品の販売を開始。Bosch Security Systemsは、店舗プランニングの豊富なセキュリティ製品に関するスキルと全国規模の販売網により、販売チャンネルの拡大およびBoschセキュリティ製品の浸透を図ります。



●Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

Bosch Security Systems

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ボッシュビル赤坂9F

TEL. 03-5485-4427 sales@boschsecurity-jp.net www.boschsecurity-jp.net

店舗プランニング、Bosch Security Systemsと販売代理店契約を締結

防犯・監視カメラシステム販売の店舗プランニングは、2013年7月にBosch Security SystemsとBoschセキュリティ製品の販売代理店契約を締結した。

Bosch Security Systemsは、自動車機器で世界的に有名なロバート・ボッシュGmbH(本社：ドイツ)の一事業部門で、a&s Internationalの2012年Security50ではセキュリティ製品売上ランキングでは世界第2位を占めている。同社はオランダのイントホーフェンに本部を置き、高品質なセキュリティおよび通信製品を全世界的に提供しているグローバル企業で、セキュリティ分野ではONVIF(Open Network Video Interface Forum)をアクシスコミュニケーションズABおよびソニーとともに立ち上げたことでも知られている。

店舗プランニングは現在、韓国CNB社のアナログ製品、韓国WEBGATE社のHD-SDI製品、パナソニックシステムネットワークスのIP製品を中心に販売している。同社は、今回のBosch製品の販売代理店契約締結により、今後IP化が急速に進

むと予測されている国内市場に向けて、普及機からインテリジェント映像解析機能を組み込んだ大規模システム構築に強みを持つBosch製品を加えることで、IPネットワーク製品をさらに充実させることができ、幅広い案件に対応することができる。

また、同社ではBosch製品の販売開始に備え、既に営業および技術スタッフ数名をBoschセキュリティ製品のアジア地域統括企業であるシンガポールRobert Bosch Pte. Ltdで研修を受講させており、10月初旬の発売開始を目指している。



オブテックス、メガソーラー施設防犯対策用の屋外セキュリティ・システムを提供開始

オブテックスは、近年増加する大規模太陽光発電所への不正侵入によるソーラーパネルの破損や盗難を防止する屋外セキュリティ・システムの提供を開始した。本システムは、センサの検知信号を携帯や固定電話などで施設管理者や警備会社などの指定先への緊急通報、音声や光での威嚇、また遠隔地でスマートフォン、タブレット、PCから現場の状況を画像確認できるなど、セキュリティ・レベルや規模、導入コストに合わせて選

ぶことができる。これにより、ユーザは様々な組み合わせにより、メガソーラー施設の防犯対策として最適のセキュリティソリューションの導入ができる。

主な特長は次の通り。

- ・セキュリティ・システム導入コスト最大60%削減
- ・セキュリティ・レベルに合わせた豊富なラインアップ
- ・ユーザの要望に合わせたセキュリティ・システムの構築

シャープ、近赤外光対応の高感度監視カメラ向けCCDを発売

シャープは、近赤外光に対応し、業界最高の可視光感度1,200mVを実現した監視カメラ向け1/3型130万画素CCD<RJ33J3CA0DT>を開発、発売する。監視カメラは、防災・防犯や記録用として普及が進んでおり、暗闇でも鮮明に撮影できることに加え、遠隔地からもリアルタイムに映像を確認・分析できるネットワークに対応したカメラの需要が高まっている。

本CCDは、光から電気信号に変換する領域を拡大することで、可視光より波長の長い近赤外光対応と業界最高の可視光感

度を実現し、明るいシーンから肉眼では捕えられない暗闇のシーンまで鮮明に撮影できる。また、業界最小スミア-120dBにより、夜間のヘッドライトなどの強い光源を撮影した時に発生するスミアを抑える。さらに、130万画素クラスのHD画像を30fpsで出力することで滑らかな映像を実現し、ネットワークカメラ用としても活用できる。

シャープでは、CCD/CMOS/DSPなどの監視・車載向けイメージセンサ関連機器をiSHartina(アイ・シャルティナ)の名称で広く訴求していく。

AF対応単焦点レンズ搭載 小型カラーカメラモジュール FCB-microシリーズ FCB-MA130

「FCB-MA130」は、Exmor™ CMOSイメージセンサーとソニーの独自ISP、専用レンズを高密度実装技術により小型サイズで実現した、産業用途向けカラーカメラモジュールです。イメージスタビライザー(手ブレ補正)、顔検出、ATR、逆光補正など多彩な機能を内蔵し、動画はFull HD、静止画は13メガピクセルまでの画像出力に対応しています。高精細、高機能でコンパクトな筐体は、幅広いアプリケーションでお使いいただけます。

【主な特長・機能】

●1/2.45型“Exmor”CMOS搭載

(1319万画素)

静止画出力と動画出力が選択できます。

動画：

最大サイズ 1920(H) x 1080(V)

静止画：

最大サイズ 4192(H) x 3104(V)

●出力画素数(H x V)

動画：

1920 x 1080(FHD),

1600 x 1200(UXGA),

1280 x 960(SXGA), 1280 x 720

(HD), 1024 x 768(XGA),

800 x 480(WVGA), 640 x 480

(VGA): 30 fps/25 fps *1

*1 ITU-R BT.1120には準拠していません。

静止画：

4192 x 3104, 4128 x 3096

(13Mega), 3264 x 2448(8Mega),

2592 x 1944(5Mega), 1920 x

1080(FHD), 1280 x 960(SXGA),

1280 x 720(HD), 640 x 480

(VGA)

●AFモード(フォーカスシステム)

One push AF、マニュアル

●顔検出機能

最大8人までの顔検出が可能。

設定:オン/オフ

AEとのリンクが可能

●ATR(Adaptive Tone Reproduction)

画像のコントラストを低下させることなく、広輝度域を再現。ATRを用いることでワイドダイナミックレンジのような効果を得られます。

●イメージスタビライザー(手ブレ補正)

デジタル処理により手ブレを補正

●逆光補正

●AE(自動露光モード)

Auto, Hold, Manual, Shutter priority, Gain priority

●ピクチャーエフェクト機能

左右反転(ミラー)/上下反転(E-Flip)

●ノイズリダクション機能(3DNR)

固定パターンノイズやランダムノイズ等を除去し、より鮮明な映像取得が可能。

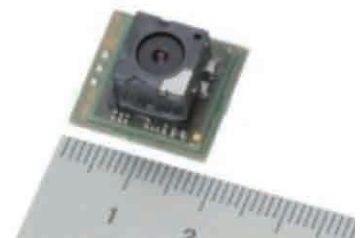
●ホワイトバランス

Auto, Hold, ATW, 固定(電球、昼白色蛍光灯、晴天、曇天、昼光色蛍光灯、電球色蛍光灯)

●レンズ：単焦点レンズ(5.3 mm)、

F2.8(固定)、ピエゾアクチュエーター

●デジタルズーム搭載(16倍)



筐体サイズ：

16.5(W) x 10.3(H) x 18.0(D) mm

●水平画角(1080p/720p時)

53°(動画)/58°(静止画)

●映像出力

CMOS出力：CMOS Clock 81 MHz,

Parallel 16 bit (Y/Cb/

Cr 4:2:2 / SAV, EAV)/

Sync Signal(HD, VD)

MIPI出力：MIPI D-PHY Clock

324 MHz, Data 2lane

CSI-2(Y/Cb/Cr 4:2:2)

●カメラ制御インターフェース：I2C

●同期方式：内部同期

●質量：2.2g

ソニー株式会社

イメージング・プロダクツ&ソリューションセクター
デジタルイメージング事業本部
ビジュアルセキュリティ・ソリューション事業部
〒243-0014 神奈川県厚木市4-14-1
Tel.050-3809-2973
<http://www.sony.jp/ISP/>

レノボ・グループ、2013年第1四半期決算を発表

レノボ・グループは、2013年6月30日を期末とする第1四半期決算を発表し、四半期売上高が前年比で10%増加、88億米ドルとなったと報告した。また、税引き前利益は前年比16%増の2億1,500万米ドル、純利益も前年比23%増の1億7,400万米ドルに達した。

レノボの市場占有率は前年比で1.7ポイント増加し、四半期では史上最高となる16.7%を記録し、初めて世界のトップPCメーカーとなった。また、PC出荷台数は、業界全体の成長が前年比11%減となる中、レノボは1,260万台を達成し、レノボが17期連続で業界全体の成長を超えている。

レノボは継続してPCプラス企業への転換を加速させ、第1四半期、スマート関連機器(PC、スマートフォン、タブレット

製品を含む)では出荷高を前年比41%伸ばし、世界第3位のサプライヤとなった。第1四半期ではスマートフォンとタブレットの売上高合計が初めてPCを抜き、二つのビジネスの勢いが明らかになった。スマートフォンは132%の成長を達成し、世界第4位のサプライヤとなり、世界の5大メーカー中、最も大きな成長を遂げた。

レノボの売上総利益は、前年比14%増の12億米ドル、売上総利益率は13.6%となった。営業利益は前年比11%増の2億200万米ドル、1株あたり利益は1.67米セント(12.96香港セント)だった。正味現金準備高は、2013年6月30日現在で合計31億米ドルに達した。

マーケット&マーケット社、スマート輸送市場を2018年に1020億ドルと予測

スマート輸送に関する報告書は、あらゆるソリューションとサービス市場における技術とその適合性を調査している。

その報告書は、輸送(それは管理に札をつけている)の主なサブセグメントの市場潜在力の評価および予測に注目します、駐車場管理&ガイダンス、乗客情報、統合監督および輸送管理。

その報告書は、さらに賢い輸送の要求に応ずるサービス業のための市場潜在力をカバーしている。

これらのサービスはビジネス解析論およびクラウド・コンピューティングのような新技術のカバーして、従来のサービス、高度なサービスおよびソフトウェア業を含んでいる。

その報告書は、さらにキープレーヤに関する研究および競争率の高い外観に加えて、技術&標準に注目し、市場動向と制約、傾向および可能性を分析している。

スマート輸送市場も、北米、中南米、西欧、独立国家共同体(CIS)+東欧、アジア太平洋(APAC)、中東およびアフリカ(MEA)のように地域に分けて調査している。

市場予測は2012年から2018年までにわたり、地域別に記載している。

スマート輸送市場報告書は、アクセンチュア、アフィリエテッド・コンピュータ・サービスズインク、アルストーム、シスコ・システムズ、キュービック、ESRI、GEの輸送、IBM、インドラ、Ineo、Kapsch、LG CNS、シュナイダ・エレクトリック、シーメンスおよびタレースといった先導企業の概要を記載している。

2012年のスマート輸送市場の市場を267億ドルに達したと推測している。

この市場が2013年と2018年の間に23.6%のCAGRで、2018年までに1023億1000万ドルに達すると予想している。

ラテンアメリカ、中東&アフリカ、そしてCIS+東ヨーロッパ市場は、2013年から2018年までそれぞれ45.8%、39.1%および31.4%の成長が期待されている。

Assa Abloy社、スマート・カードと電話用の国際特許を取得

米国特許商標庁は、HIDグローバルが申請していた特許数点を認めたと発表した。申請内容は、RFIDを使用するスマート・カードやNFC対応のスマートフォンで、プライバシーとセキュリティおよび便宜性を高める目的で、三次元動画を使用して身

振りに基づいた方法を活用するもの。今回認められた特許により、HID Global社は1,000以上申請中または取得済みのIPポートフォリオを強化する。

MCLDC

Muti-Channel Long Distance Coaxial



既存の同軸ケーブルを利用し、高解像映像をモニタリング / 録画保存
1本の同軸ラインに最大16台の高解像カメラ信号をデジタルTV伝送
従来の監視システム配線を覆す、芋づる式 / リング式の配線に対応
2MP(Full HD) と 5MP(2560 x 2048) の解像度に対応
NVR への接続は USB/LAN ケーブルより選択
最長 500m の長距離同軸配線



● Full HD 屋内用ドームカメラ

SDHM200RN-W

1920 x 1080 @ 30fps
3.5mm-10mm レンズ
Day/Night モデル



● Full HD 屋内用 BOX カメラ

SDHM200BN

1920 x 1080 @ 30fps
4mm-10mm レンズ
Day/Night モデル



● Full HD 屋外用バレットカメラ

SDHM200WN-W

1920 x 1080 @ 30fps
3.5mm-10mm レンズ
Day/Night モデル
赤外線投光器付き

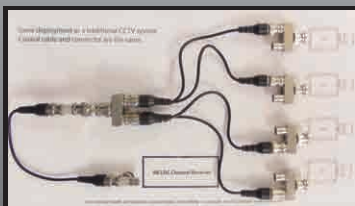


● MCLDC チャンネルレシーバ

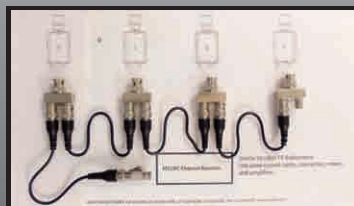
SDHMSRV04

最大 4CH のカメラ入力対応
USB/LAN にてデータ転送
Onvif サポート
PoC 対応
転送プロトコル RTSP

接続イメージ



スター式配線



芋づる式配線



リング式配線

パナソニック北米社、AMAGテクノロジー社公認パートナーとなる

Amagテクノロジー社は、パナソニック北米社がAmag社の新シメントリ・ビジネス・ソリューション・プログラムの公認パートナーとなったと発表した。これにより、パナソニック製NVRは、Amag社製セキュリティ・マネジメント・システム(アクセス・コントロールを備えた映像記憶装置/デジタル伝送方式)を統合することができる。両社は合同でテストを繰り返し、Amag社製セキュリティ管理システムを搭載したパナソニック北米社製NVRがユーザの要求に対応できると認定した。

Amag社拡張ビジネス・ソリューション・プログラム担当マ

ネジャのシャエ・テイラ氏は「当社は、パナソニック北米社が拡張ビジネス・ソリューション・プログラムの一翼を担うことになったことを歓迎している。パナソニック・シリーズNVRとの統合により、ユーザに強健で完全なセキュリティ管理ソリューションを提供できる」と話す。

パナソニック北米社事業開発担当上席マネージャのマイク・マドックス氏も「政府と企業ユーザ向けに、このNVRで磨きぬいた利点、すなわち幅広い市場に向けた多種多様な高度なネットワーク監視システムを提供できるだろう」と期待している。

ボッシュ社とマイルストーン社、映像技術協力を強化

マイルストーン・システムズ社とボッシュ・セキュリティ・システムズ社は、マイルストーン社VMSのXProtectとボッシュ社IP映像装置との完全統合を目指して、世界的戦略パートナーシップを締結した。協力の一環として、マイルストーン社は、ボッシュが提供する統合パートナー・プログラム(IPP)にプレミアム・パートナーとして参加する。IPPIは、ソフトウェア・ソリューションを含むボッシュ社映像製品との相互運用性を保証している。

両社は既に何年も協力してきているが、今回の戦略的パートナーシップは、両社の製品統合を次の段階に移行するのが狙いである。双方のユーザは、マイルストーン製品から利用可能なボッシュ社製IP機器用新ドライバにより、独自の機能を使用することができる。このドライバは、不審人物の高度検知用に、ストレージとボッシュ社製内蔵型映像解析ソフトウェアを広範囲の利用をサポートする。

IMSリサーチ社、2014年にネットワークカメラが過半数に到達と予測

IMSリサーチ社の報告書「CCTVおよびビデオ監視装置のための世界市場」によると、CCTVと映像監視機器市場は、2014年初頭に売上金額でネットワーク機器がアナログ機器に並び、2014年が転換機になると予測している。ただし、出荷台数では2017年まではアナログカメラがまだ多数を占めると見ている。

IHS社映像監視市場アナリストのジョン・クロブリ氏は「ネットワークカメラは多くの拡張機能を備えている高価格のカメラだ。2012年出荷台数ではネットワークカメラは20%未満だったが、売上金額でみるとアナログカメラとほぼ同規模だった」と話している。

大規模な企業案件では既にネットワーク映像機器を採用し

ている。今では、小規模案件でも導入が進んでいる。さらに、アナログカメラとDVRの価格競争が進んだことで、ネットワーク機器にも影響が及び、その結果成長に拍車がかかったという事態も起きた。2011年から2012年にかけて映像監視の世界市場は10%以上成長したとHIS社は評価している。その成長の牽引役はネットワーク機器で、これは数多くの国で実績があった。ただし例外は中国で、アナログ市場が成長し続けた国のうちの1つだった。

「アナログからネットワークへの移行は2013年も継続している。今年、世界のアナログ市場は横ばいになり、その一方でネットワーク市場は20%ト以上ずつ成長するだろう」とクロブリ氏は見ている。

ジャバテルのプロダクツ／サービス／クラウドのご紹介

HD-SDI DVR

HIKVISION
7204HFHI-ST-2T
ズバリHD-SDI フルHD
4カメラ120fps 2TB HDD
希望小売価格
¥165,000-

MAX 65% OFF

- ◆最大8TB迄対応
- ◆PCLスで軽々と表示
- ◆HDMI VGA 出力
- ◆スマートフォン
対応、何と録画再生
もサポート
- ◆リモコン操作
- ◆CMSサポート

NVR

HIKVISION
7604NI-SEP-1T
4POEスイッチ内蔵
4 ipカメラ フルHD 120fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥138,000-

ONVIF
7616NI-SP-1T
8POEスイッチ内蔵
16 ipカメラ フルHD 480fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥201,000-

- ◆CMSサポート ◆Genetec VMS統合

ONVIF
9632NI-SP-1T
32 ipカメラ フルHD 960fps
1TB HDD
希望小売価格 ¥466,500-

- ◆マルチベンダーカメラ
- ◆リモコン操作



Hybrid NVR

ONVIF
8004HFI-ST-1T
8カメラ 4 ipカメラ フルHD 480fps
+ 4アナログカメラ 1TB HDD
希望小売価格 ¥340,500-

9016HFI-RT RAID 0 1 5 10 モデル
32カメラ RAID 16 ipカメラ フルHD 480fps
+16アナログカメラ 480fps 1TB RAID1 HDD
希望小売価格 ¥817,500-

既設アナログからIPの移行に最良の選択です。

- ◆最大32TB迄対応 ◆PCLスで軽々と表示 ◆スマートフォン対応、何と録画再生もサポート ◆CMSサポート ◆Genetec VMS統合
- ◆マルチベンダーカメラ ◆リモコン操作

HIKVISION

HIKVISION レコーダー
リモコンは標準添付です。



同一仕様DVR
供給OK

NVR(エイロク)built on VMS

ONVIF
MQ-4GSC-1T1S mini キューブ
世界最高峰 VMS GSC Genetec Security Center 搭載
4 ipカメラ フルHD 240fps 1TB HDD 64GB SSD
希望小売価格 ¥498,000-



MQ-32GSC-9R2S mini キューブ
世界最高峰 VMS GSC Genetec Security Center 搭載
32 ipカメラ フルHD 960fps 6TB RAID5 HDD and 64GB RAID1 SSD
希望小売価格 ¥1,280,000-



圧倒的な性能と高度なソリューションノウハウが
このプライスで提供可能です。 プラットフォームならGSC ※写真は1Uモデルです。

統合

ニーズ

クラウド

PBX

ドコかめ®

LPR

引き合い多数!!

お客様は機能を欲しがっているのでしょうか?
いいえ、欲しいのはソリューションサービスと信頼性、可用性、シームレスな操作と拡張性です。

世界最高レベル
あのMicrosoft Azure
データセンター上で実現
します。
Stratocast by Genetec

Genetec社のプロダクツは大規模向けで、操作が難しいのでは? 稼働までの設定調整が難しいのでは?

「良いソフトウェアの機能とは複雑なものをシンプルに見せるものです。」 Grady Booch
「長い手紙を書いたのは短くする時間がなかったからです。」 Blaise Pascal, 1657

- ◆全社員3000人で映像リソースを参照、共有? メディアルーター&リダイレクター
- ◆電話、インターフォン連携? SIPゲートウェイ
- ◆高速度撮影カメラ(60fps)はサポート? h.264 60fps完全対応、一コマ再生OK
- ◆入退室との連携?完全統合(Synergis)と他社プラグイン
- ◆自動車ナンバー読取と連携? LPR Autovu 対向速度 300Km
- ◆他のERPシステムとの連携? カスタムタスク組込みを.netで完全対応
- ◆クラウドソリューションとの連携? Stratocastとフェデレーション統合
- ◆センサ侵入監視パネルは? プリポストアラームで完全対応 + カスタム対応

北米 No.1 国内 No.2 よそで断られた、コストが合わない、絶対に負けれない商談。何なりとご相談ください。

'11 IMSR調べ '11 富士経済調べ



モバイルカメラ
ドコかめ®は災害
対策、巡回警備、
リモートメンテナ
ンスと活躍します。

赤外線
PTZドーム
80mレンジ



VGA ¥269,800
1.3MP ¥400,500
2MP ¥495,000

屋外
パリアフォーカス
固定ドーム



電動VF
VGA ¥96,400~
1.3MP ¥168,500~
2MP ¥164,000~
3M 5M 有り

屋外/屋内
固定ドーム



VGA ¥45,000~
1.3MP ¥51,800~
2MP ¥58,600~

屋外/屋内
弾丸形状



VGA ¥80,600~
1.3MP ¥107,700~
2MP ¥12,5700~
電動VF 3M 5M 有り

VGA ¥62,600~
1.3MP ¥85,100~
2MP ¥89,600~
3M ¥121,200~

ギガビット
コンバータ



GT-802 ¥27,000
GT-802S ¥31,500
WDM仕様 15Km
GT-806A15 ¥44,100
GT-806B15 ¥62,200

Javatel
Video Intelligence

株式会社 ジャバテル
Osaka 06-6354-0100 Tokyo 03-6658-8726
www.javatel.co.jp
info@javatel.co.jp

PLANET
Networking & Communication

24ポート POE + 4TP or
SFP ギガビット ¥143,200-



VGA ¥39,600~
2MP ¥44,600~

MAX 65% OFF

屋内VF
ドーム



電動VF
VGA ¥71,600~
1.3MP ¥107,700~
2M 3M 5M

ビジネスは
決断 業績 UP
特約店大募集
info@javatel.co.jp

MAX 65% OFF はあくまでも個別取引条件(パートナー契約内容と年間取扱高)における最大値です。勿論、スポット取引も大歓迎です。

市場として注目を集めるSMB市場



最近注目の的になっているSMB (中小企業)市場。SMBに力を入れているセキュリティ企業も多い。この分野でも、ネットワーク監視とクラウドサービスを積極的に取り入れる機運が高まっている。本特集では、SMB市場におけるネットワーク監視とクラウドの潮流を紹介し、以前は大企業分野に焦点を合わせていた企業も含め、セキュリティ各社がこの分野にどのようにアプローチしているか、市場と製品戦略の観点から解説する。

どんな企業をSMBと呼ぶかは、従業員数と売上高によって決まる場合が多い。ガートナー社をはじめとする大部分の調査機関の定義では、従業員1000人未満で年間売上高10億米ドル未満の企業がSMBだ。そのうち、従業員100人未満で年間売上高5,000万ドル未満の企業が小企業、従業員数100人から999人で年間売上高5,000ドル以上10億ドル未満の企業が中企業としている。一方、欧州委員会(EC)の定義では、従業員250人未満で粗利益6,540万ドル未満の企業がSMBだ。

SMB市場を軽視するわけにはいかない。確かにSMB市場の案件は官公庁や大企業と比べると小規模だが、SMBは地域経済の根幹を担っている場合が多く、国全体のGDPに大きく貢献している。さらに、個々のSMBは小さいとは言え、SMB市場全体は非常に大きい。米国で約800万社、中国で約330万社、インドで約350万社のSMBが存在する。ECの統計によると、欧州では従業員250人未満の企業が全体の99%以上を占める。インタナショナル・データ社によると、SMBのセキュリティ支出は、2015年には米国だけで56億ドルを超えると予想される。これは、同時期におけるSMBのIT支出の2倍に匹敵する。

このような理由から、大規模なセキュリティプロジェクトが大々的に報道され

ることが多いとしても、SMBのセキュリティ部門の市場潜在力は強力である。

SMBでのIP監視の導入状況

市場占有率を獲得するには、SMBの特性を理解することが重要だ。第一に、SMBのセキュリティに関する要求は同業の大企業とほぼ同様にも関わらず、予算は非常に少ない。第二に、ほとんどのSMBでは社内ITの資源が存在しない。IP技術への移行に消極的だったのもこれが理由だ。第三に、SMBは大企業とは異なり、ワンストップショップを好む傾向がある。一般的に言えば、専任のセキュリティ担当者が存在せず、ほとんどの社員が複数の業務をこなしている。世界的な景気停滞という事情もあり、たとえ将来的に経済性や技術上の利点があっても、SMBの関心が長期的な観点から見たソリューションの将来性に向くことは少ない。また、短期的な観点から、コストに基づく意思決定を行う傾向がある。

製品の必要条件としては、SMBが導入するカメラは一般に16台以下で、映像の保存期間は、事業内容に応じて異なるが30日以内だ。「映像を最低でも1週間は保存したいというのが大部分のSMB顧客の要求だが、小売業の場合は、クレジットカード詐欺を検出したいという理由から、約30日間の保存が要求される」とネクスト・レベル・セキュリ

ティ・システムズ社事業開発担当副社長ジュミ・エデュラム氏は語る。「ストレージに関する様々な要求に対応するには、映像ソリューションで必要に応じて外部ストレージを簡単に追加できる機能など、柔軟なストレージ・オプションを備えることが重要だ」と同氏は指摘する。

アナログとIP

ゆっくりとしたペースだが、風向きは変わりつつあるようだ。「過去2、3年ほど成長率が横ばいとは言え、小規模企業向けアナログ製品の販売実績は、どの業種でも依然として堅調だ」とIDIS欧州社上級営業責任者ジャミィ・バーンフィールド氏は言う。ただし、IPへの移行は急速な転換というわけではなく、落ち着いたペースで進行すると予測される。同氏によると、これは、アナログ製品の売上が徐々に減少している状況と現在の景気停滞を反映している。

IP監視の導入はいくつかの要因により促進されているが、価格の低下と価値の向上が明らかに決定的な要因となっている。「この2、3年で、あらゆるIP監視機器用構成部品が値下がりすると同時に、機能と仕様が向上した」とD-Link社欧州IP監視事業開発担当責任者トニー・ラノン氏は語る。「その結果、高解像度、無線接続、低照度撮影、クラウド対応などの機能が標準装備される傾向が強まっている。小企業でも4台のカメラを含む高仕様の監視



ネクスト・レベル・セキュリティ・システムズ社事業開発担当副社長ジュミ・エデュラム氏



IDIS欧州社上級営業責任者ジャミィ・バーンフィールド氏



D-Link社欧州IP監視事業開発担当責任者トニー・ラノン氏



IMSリサーチ社市場分析者アラン・デイル氏



ボッシュ・セキュリティ・システムズ社アジア太平洋地域事業開発チャンネル担当取締役スラジト・ビスワス氏

システムを非常に魅力的な価格で購入できるようにになった」と同氏は言う。

SMB分野では、既存のアナログシステムと併存する形でIP監視が導入され、徐々に入れ替えが起ころつつある。「最初はハイブリッドシステムが多くなるだろうと予測していたが、エンコーダの価格や、複雑さが増すという理由から、実際にはアナログとIPの併存システムが増えている」というのがラノン氏の見解だ。これらのSMBでは、個々のアナログカメラの耐用期間が満了に達すると、後継としてIP機器を導入するという方法で、純粋なIP監視への段階的な移行が行われている。「コストが高いため、ライフサイクルが長いPTZカメラに関しては特にその傾向が強い」と同氏は言う。

SMB分野に焦点を合わせる大手企業

以前は大企業向けの複雑な大規模案件を専門としていた大手企業が、SMB市場に進出するための戦略を策定している。その一方で、以前からSMB市場に焦点を合わせていた企業も存在感を強めている。「当社は、代理店が新しい市場を開拓し、小売や金融、中小企業市場で収益機会を得られるよう支援している」と、DVTEL社国際市場&ハードウェア製品担当副社長エド・ワスオール氏は語る。

例えば、アクシスコミュニケーション

ズ社は、最大16台のカメラを使用できるエントリ・レベルのIP映像ソリューションを発表した。世界最大のSMB市場であるインド向けの本ソリューションには、無償のソフトウェア・クライアントと、SDカードメモリに録画を保存できるネットワークカメラとビデオエンコーダが含まれる。同様に、ハネウェル社やボッシュ社、マイルストーン社など、さらに大手の多国籍企業もSMB市場向けに手頃な価格の入門用ソリューションを販売している。「IP監視用の新製品、解析機能や技術が出現するに伴い、SMB市場に完全に適合して受け入れやすいIP監視ソリューションが生まれる」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社アジア太平洋地域事業開発チャンネル担当取締役スラジト・ビスヴァス氏は言う。

設置業者と代理店が重要

SMBの調達プロセスは大企業や官公庁とは異なる。また、部署間で意見調整を行う必要がないため、一般に営業期間は大企業よりも短い。SMBはセキュリティ設置業者と緊密で長期に及びパートナーシップを築く場合が多いとバーンフィールド氏は指摘する。

「ほとんどの場合、最初の問い合わせから見積もり、現地調査そして工事完了まで、わずか2、3ヵ月しかかからない。専門の設置業者を使わずに、経営者自身



▲DVTEL社国際市場&ハードウェア製品担当副社長エド・ワスオール氏

がシステムを設置する場合には、わずか1週間に短縮される」とラノン氏は言う。

SMB市場では、市場浸透を図る上で、設置業者と代理店は必要不可欠なパートナーだ。マイルストーン社は、中東の定評ある大手システム構築企業を通じて、同地域のSMB市場に進出している。有数のVMSプロバイダである同社が最近、SMB市場担当副社長を任命し、価格競争力のあるソリューションを導入したという事実が、SMB市場の重要性を浮き彫りにしている。

同様に、IDIS社はダイレクト教育も行っているが、SMSの顧客はむしろ設置業者との緊密な共同作業を選ぶ傾向があることを認識している。そのため同社は、設置パートナーにスキル教育を行い、SMB分野に対応する戦略も採用している。

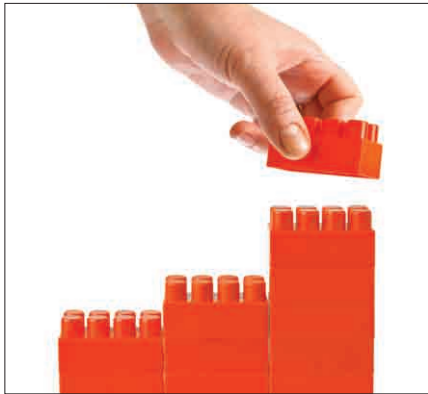
プラグ&プレイを実現する製品設計

設置と運用が容易なことがSMB分野では重要な条件だ。アナログシステムがまだ人気を失っていない理由は、設置業者も導入側もIPアドレスを設定したり、様々なストレージ・オプションを検討したり、ネットワーク帯域幅の問題に対処したりする必要がないからだ。そのため、シンプルで手頃な価格のIPソリューションを提供するセキュリティ企業がSMB分野で市場占有率を獲得している。

例えば、IDIS社は、アナログシステムのライバルになり得るシステムを発表した。「プラグ&プレイ技術を採用して、設置と設定が簡単に行える。今まで大部



▲複数の拠点を保有する小売企業は、クラウドを利用する監視ソリューションの普及が最も速い業種の1つだ



▲ 拡張性を備えたソリューションが
中小企業の要求の拡大に応える

分のSMB市場で不要だった大容量のNVRに直接録画を行うことで、映像用ストレージの問題を解消している。当社は、ネットワーク・アクセサリも含めた、完全なHD映像ソリューションの構築に必要な全ての要素をパッケージ化したソリューションを提供している」とバーンフィールド氏は言う。

同様に、DVTEL社は導入と管理を容易にするプラグ&プレイ方式に基づくMBソリューションを開発した。同社は、2013年1月、SMB分野を重要な対象市場とする、「セルフ・インストール」機能

を備えたプラグ&プレイネットワーク録画機器を発表した。4ポートと6ポートのモデルがあり、スタンドアロン・ユニットは最大24台のカメラを使用する監視環境に最適だ。さらに、企業のセキュリティ要件の拡大に合わせて、複数のユニットを使用して大規模なシステムを構築することもできる。

D-Link社は、SMBとプロフェッショナル・コンシューマを意味する「プロシューマ」を重視し、パートナー企業とユーザがIP監視ネットワークを簡単に設置、管理、制御できる様々な機能を提供している。例えば、ゼロ・コンフィギュレーションは、互換性のあるルータに接続されたカメラがネットワーク上で自動的に設定される機能で、適切な設定を行い、最適な性能と無線認証を実現する。他にも、スマートフォンやタブレットからの遠隔制御を可能にするモバイル・アプリケーションや、カメラの台数、画像の解像度などの要因に応じて必要な帯域幅とストレージ容量を算出するハンディ・カリキュレータなどのツールも提

供している。さらに、YouTubeを利用して、操作方法を説明する映像を配信したり、自社Webサイトで製品に関するFAQを用意したり、映像とセキュリティ管理に関するユーザ・ポータルを設けるなど、様々な方法を用いてSMBに訴求し、好評を博している。

「プラグ&プレイ・アプローチのおかげで、ITに関する基本的な専門知識しか持たない設置業者でも、フル機能を搭載したIP映像ソリューションをアナログシステムよりも短時間で導入することができる。設置業者とユーザがITネットワークのパワーを簡単に活用できるようにする技術が、SMB市場におけるIPの導入をさらに早めるだろう」とワスオール氏は語る。

確実に進行するIPの導入

SMB市場でも、他分野と同様にIPへの移行が順調に進みつつある。ただし、ほとんどのセキュリティ企業の予測によると、2013年はまだIPベース監視システムの売上がアナログを追い抜くには至らない。「それでも成長の速度が上がってきているのは確かだ。IPなら優れた画質と遙かに高い解像度が得られ、映像製品の機能をシステム全体で効率よく利用できる」とビズヴァス氏は語る。

全体的に予算緊縮の傾向が見られる米国と多くの欧州諸国では、多くの大手セキュリティ企業が、SMB市場への進出を目的として、SMB固有の要求に対応するIPソリューションを投入している。「当社は、大企業向けシステムの経験を活かし、導入と管理が容易な中小企業向けのソリューションを提供している」とワスオール氏は言う。近い将来、IPへの移行がさらに円滑にそして簡単になるのは間違いない。



SMB市場、クラウドを検討中

ガートナー社の予測では、パブリック・クラウドへの支出額は2016年には2,070億米ドルを超える見込みだ。この成長を支える最大の牽引役は、膨大なリソースを有する大企業だが、SMB分野も頭角を現している。HISグループのIMSリサーチ社市場分析者アラン・デイル氏によると、クラウドを利用するビデオ監視ソリューションの世界市場は、SMBに関しては2016年に1億ドル規模になると予測される。

SMBの中でも、複数の拠点を保有す

る小売企業は、クラウドを利用する監視ソリューションの普及が最も速い業種の1つだ。広い地域に分散した小売店舗を経営するユーザにとり、統一されたプラットフォームで全店舗の映像を集約できるクラウド監視ソリューションは魅力的だ。遠隔視聴以外の利点もある。「映像をPOSデータや映像解析機能と統合すると、行列の長さや人数計数などのレポートが可能になる。全店舗からの映像を利用して算出した行列の長さの統計を表示できるようになれば、監視システムに付加価値がもたらされる」とデイル氏は指摘する。

導入の緒に立つ HD-SDIと960H

世界市場での浸透が順調とは言えないHD-SDI。その理由として基幹部品やシステム、価格や販売網など様々な問題があった。一例を挙げると、高価格な16チャンネルHD-SDIソリューションと選択肢の少ないHD-SDI DVRなどが、設置業者やシステム構築者の悩みの種だった。ところが2013年、新モデルが次々と登場し、状況が変わってきた。また、ソニーとネクストチップ社が力を入れている960Hソリューションも、改良された新しいSDという波に乗っている。ここではHD-SDIと960Hの動向について、最新の情報を紹介する。



鮮明な画像に魅せられてしまうと、もう後戻りすることはできない。以前は、アナログ監視画像よりも優れた画質を得たければ、ネットワークカメラかメガピクセル・カメラを使用するしかなかった。IPネットワークを使いこなすには新たなスキルが必要になるため、アナログ・ソリューションのユーザにとっては、HD-SDIや960Hソリューションの方が親近感がある。非常に鮮明な画像を同軸ケーブルで伝送することができるソリューションが、今まさに要求されている。

HD-SDI

家電業界と監視業界ではHDは止めることのできない潮流だ。HD-SDI映像カメラとレコーダは、メガピクセル・カメラとIPベースのネットワークの代替手段であり、セキュリティ・ソリューション供給側にとっては、同軸ケーブル・インフラを所有している顧客向けのアップグレード手段として理想的だ。

HD-SDIの導入には価格という問題が立ち塞がっていた。16チャンネルHD-SDIソリューションのコストは、同等のIPソリューションと同等かそれ以上で、しかも2012年までは、HD-SDI DVRの選択肢が非常に限られていた。「4チャンネルHD-SDI DVRの平均価格は、2012年第4四半期から30%下落している」とシャ

ニー・エレクトロニクス社営業&マーケティング担当副社長ダニー・タン氏は言う。「HD-SDIとチップのメーカーが次々と参入し、多数のモデルが登場した。2013年にはHD-SDIソリューションの競争力が高まると期待している」

エヴァーフォーカス・エレクトロニクス社マネージャのトニー・リン氏も同意見だ。「可能性は十分にあると思うし、実際にその方向に動きつつある。HD-SDI機器メーカーがアナログ市場に低価格で参入し始めた。SDIの価格は、アップグレードを希望する顧客を取り込むため、アナログの最上位機種と同じレベルまで下がると予測している」。

この価格の低下が新たな可能性につながること考えられる。エヴァーフォーカス社は、SDユーザによるHDの採用が加速すると予測している。「SDIの価格低下が新たな市場を生み出すのではなく、むしろ、アナログ市場の中間層を直撃すると見ている。この中には、まだIP化されていないあらゆる市場が含まれる」とリン氏は語る。

有望な市場

今回インタビューした企業の大部分が、HD-SDIの大規模な導入は難しそうだと予測しているが、いくつかの可能性を発見している企業もある。「当社のSDIソリューションは裁判所にとってつけだとなった。複数の法廷で同時に使用でき

る」とiCatch社取締役副社長ヴァネ・リン氏は話す。「使いやすく、遅延時間やフレームレートの中断が発生しない、帯域幅の制約がない、安定性と信頼性が高い、高画質などが利点で、裁判を進める上で裁判官や弁護士にとって有益なツールになる」。

アナログシステムでは同軸ケーブルを使用しているため、配線を全て取り換えるコストを考えるとIPへの移行に踏み切れない顧客もいる。「欧州には歴史的な建造物が非常に多く、全ての配線をイーサネットに変えるのはまず不可能だ」とタン氏は言う。「代案として、欧州の顧客がHD-SDIソリューションを望んでいる。日本もアナログ環境が圧倒的に多いので、HD-SDIソリューションが有望だ。数社の小売企業が、遅延時間なしでHD画質が得られるという理由から、HD-SDIソリューションを採用している。当社は、PoC (Power over Coaxial) 機能と遠隔制御機能を設計して、顧客向けにカスタマイズしたソリューションを提供し、現場の様々なニーズに対応している」。

費用対効果の高いHD-SDIバンドル製品が出現すれば、小売業界で導入が一気に進む可能性がある。AMG システムズ社創設者兼常務取締役アラン・ヘイズ氏は、「米国では、クレジットカードにICチップを搭載し暗証番号を入力するという決済方法が不人気で、いまだに伝票や小切手にサインする方法が好まれる」と言う。「そのため、決済処理に時間がかかる。現在、顧客がクレジットカードをパッドにタッチするだけの『タッチパッド決済ソリューション』の導入が検討されており、本人証明ソリューションにおいてHDが必要になる可能性がある」。

ダフア・テクノロジー社が対象にしてい



シャニー・エレクトロニクス社営業 & マーケティング担当副社長
ダニー・タン氏



エヴァーフォーカス・エレクトロニクス社マネージャ トニー・リン氏



iCatch社取締役副社長
ヴァネ・リン氏

Network DynaGuard™ I シリーズ

プラグ&プレイ NVR



製品概要

IシリーズNVRは1080Pリアルタイム録画、デュアルストリーミングをサポートするH.264 NVRです。IシリーズProモデルはPoEハブを内蔵し、IPカメラをプラグ&プレイで自動接続します。学校やコンビニ、ガソリンスタンドなど地域社会に密着した小規模から中規模の監視マーケットを対象にした製品です。

IシリーズNVRは、ローカルディスプレイ出力ポートで、追加オプションなしにフルHDのクリスタルクリアな映像をローカルモニターに映し出します。また、Iシリーズ Pro NVRは、IPカメラのデュアルストリーミング機能と内蔵PoEハブで、ネットワーク帯域を心配することなく、カメラへの電源供給ができ、ケーブル配線その他の付帯設備などの設置経費を抑えたいシステムインテグレーターにとって、パーフェクトな録画装置です。Iシリーズ Pro NVRはプラグ&プレイ機能により、ネットワークやユーザー名、パスワードなどの複雑な設定いらずで、簡単にIPカメラの接続ができます。

コンパクトサイズで、限られたスペースへの設置を可能にします。さらに、DynaRemote™とDynaGuard™CMSソフトウェアがリモートアクセス、遠隔制御を可能にします。モバイルビューソフトウェアで、スマートフォンによるリモート監視も可能です。

特長

- ① 組み込みLinux
- ② フルHD ローカルディスプレイ出力
- ③ 6つのIPチャンネル
- ④ H.264録画・再生
- ⑤ 6 Ch PoEハブ (Proモデル)
- ⑥ IPカメラの自動復旧 (Proモデル)
- ⑦ IPカメラのプラグ&プレイをサポート (Proモデル)
- ⑧ フリーバンドルDynaRemote™・DynaGuard™ CMS
- ⑨ iOS、Androidスマートフォンアプリをサポート

DYNACOLOR SMB LINE

WHシリーズ

フルHD、マルチストリーム、WiFi



- ・2MプログレッシブスキャンCMOSセンサー
- ・ワイドダイナミックレンジ
- ・内蔵スピーカー&マイク*
- ・昼/夜監視 (ICR)
- ・LED赤外線照明 (最大5m)*
- ・2つの電源選択可 (PoE/ DC 12V)
- ・Onvifサポート

WJシリーズ

フルHD、マルチストリーム、LED赤外線照明



- ・2MプログレッシブスキャンCMOSセンサー
- ・複数M12レンズサポート
- ・一体型ブラケット (3軸調整可)*
- ・一体型ケーブル*
- ・3Dノイズリダクション
- ・LED赤外線照明 (最大10m)
- ・IP66防塵防水*

WNシリーズ

フルHD、マルチストリーム、LED赤外線照明



- ・2MプログレッシブスキャンCMOSセンサー
- ・フルHD 1080P +D1リアルタイム
- ・4つのコーデック
- ・H.264ベースライン/メイン/ハイ・プロファイル+MJPEG
- ・LED赤外線照明 (最大25m)
- ・マイクロSDスロット
- ・IP66防塵防水*

*オプション

DYNACOLOR
always watching

DYNACOLOR JAPAN

〒102-0093

東京都千代田区平河町1-1-1平河町コート202

TEL 03-3265-0037 FAX 03-3265-0038

www.dynacolor.co.jp Email: info@dynacolor.co.jp

る市場セグメントは、銀行や遊技場そして交通監視などで、HDが必要だが、既存の同軸基盤の存在が大きい。同社によると、SDIへの移行が特に有望なのはアジア諸国だ。「韓国と日本は監視市場が成熟していて、SDからHDへの移行に熱心で、SDI導入の牽引役になっている」とダフア・テクノロジー社製造エンジニアのシュピン・ツォン氏は話す。「その他のアジア太平洋諸国も、特に銀行やカジノ、市街監視などの業種で安定した成長を示している」。

ガソリンスタンドでもHD-SDIが積極的に導入される可能性がある。「ごく限られた基本的な監視装置しか設置されていないのが大部分のガソリンスタンドの現状だ」とエヴァーフォーカス社リン氏は言う。「しかし当社は、解像度を高めたいという要求は存在すると見ている。セルフサービス区域については、特にそうだ。ガソリンスタンドは潜在的に危険な環境だという事実から、SDIが完璧な解決策になり得ると確信している。SDIなら、既存の同軸ケーブルを使用して解像度を高めることができる」。

HD-SDI用部品の進歩

画像が非常に鮮明で遅延時間がほとんどなく、既存の同軸ケーブルをフル活用できるというSDIの利点は、非IT系の設置業者だけでなく、チップメーカーも惹き付けている。現在、アルテラ社、アンブレラ社、ハイシリコン・テクノロジー社、NS社、テキサス・インスツルメンツ社、ザイリンクス社がHD-SDIソリューションを提供している。チップメーカー各社が研究開発投資を増やしているため、より費用対効果の高いHD-SDIチップが続々と登場しつつある。米国映画テレビ技術者協会も、高速なデータ伝送を実現する10ギガバイト/秒インタフェイスを発表

し、HD-SDIの普及を後押ししている。

イメージ・センサ・プロセッサ(ISP)ソリューションの数が増えるにつれ、HD-SDIメーカーの部品の選択幅が広がる。「ISPとチップの様々な組み合わせにより、HD-SDIカメラの設計が多様化し、独自性が高まっていく」とa&sシニアコンサルタントのアルフ・チャン氏は言う。「システム構築者と設置業者は、センサ、フィールド・プログラマブル・ゲート・アレイ (FPGA)、ISPの組み合わせに注意を払わなければならないだろう」。一般的な組み合わせは以下の通りだ。

・CMOS/CCD+ISP+エンコーダ:

ISPとエンコーダを採用し、高い柔軟性と信頼性を実現する。ただし、60フレーム/秒ではLVDS (Low-Voltage Differential Signaling) はサポートされない。

・CMOS/CCD+(ISP+CODEC):

上記の組み合わせとは異なり、ISPとエンコーダに関しては統合部品を使用しているため、メーカーが効果的にカメラを小型化することができる。画像は平均的な水準で、上記のソリューションよりも柔軟性は劣る。

・CMOS/CCD+FPGA:

FPGAを利用したソリューション。柔軟性は高いが、安定性、コスト、画質を確保するのは難しいかもしれない。

・CMOS/CCD+ISP+SDITx:

独自のISPと伝送チップを使用し、高い安定性と画質を実現するソリューション。60フレーム/秒でLVDSをサポートする。

様々なHD-SDI対応製品

HD-SDIは、間違いなくアナログ映像監視におけるHDという方程式の解になる。とは言え、HD-SDIソリューションのような閉じたシステムは、設置時に複

雑な配線が必要になる懸念がある。一部のメーカーはこの点を配慮し、ユーザと設置業者が容易に移行できるソリューションや混合型ソリューションを提供している。例えばハイシャープ社は、HD-SDIとアナログのハイブリッドDVRを提供し、ユーザが場所に応じて最適なカメラを選択できるようにしている。

シャニー社はCMSを搭載し、2チャンネルのSDIと8チャンネルのアナログを備えたDVRを中小企業市場向けに提供している。アナログとIPそしてHD-SDIが併存する三位一体型のソリューションも提供可能だ。「設置業者の要求を満たすため、使いやすい遠隔設定設計や伝送距離の延長に引き続き努力していく」とタン氏は言う。「セキュリティ以外の用途に対応するHD-SDIやSDIスピード・ドームも、当社の研究開発が目指す方向だ。HD-SDIスピード・ドームは、2013年第2四半期の発売を予定している」。

ウェブゲイト社は、HD-SDI DVRの統合とONVIFへの準拠に力を入れ、IP製品との柔軟な統合を実現する予定だ。「当社は、様々なモデルのコンバータとCVBS出力搭載カメラを用意し、アナログシステムとの円滑な統合を可能にしている」と同社マーケティング責任者クリス・キム氏は語る。「ネットワーク化に関しては、当社のHD-SDI DVRはネットワーク接続機能を備えており、DVRまたはIPエンコーダ経由でHD-SDIカメラから画像を受け取ることができる。アナログとHD-SDIのハイブリッド製品は、遠からず利点がなくなる。当社は、IPとHD-SDIに対応するハイブリッド製品という長期的なプランを用意している」。

iCatchは、CMSとモバイル・アプリケーションに注力している。「当社はリアルタイム録画、再生機能を備えた16

チャンネルHD-SDI DVRをアジアで初めて開発した企業の1つだ」と同社リン氏は言う。「ユーザは、バンドルされたCMS機能をフル活用できる。このDVRは、Windows、Mac OS、iOS/Androidアプリ・プラットフォームに対応しているので、ユーザは気になる場所をどこからでも監視することができる。スマートフォンを中心としたBYOD (Bring Your Own Device) の浸透に伴い、セキュリティ・サービスへの関心が高まり、利用が促進される。ユーザにとっては、使用している監視ソリューションがIPベースかHD-SDIかは問題ではない。監視システムを遠隔から表示し、管理できるかどうかの問題だ」。

960H

960Hとは、ソニーが開発したCCDイメージセンサのシリーズの名称である。映像画像を960 (横)×480 (縦) ピクセルの解像度で撮影することができる。960H CCDセンサは、映像画質を高める目的で、ソニー製のDSPと組み合わせて使用することが多い。ソニーのDSPをソニーのセンサと組み合わせて使用することで、WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、逆光補正、ノイズ除去、低照度機能をサポートすることができる。

ネクストチップ社といった韓国企業も

センサとDSPの供給者だ。同社は2種類のセンサをソニーの代替品として提供している。ネットワーク、HD-SDI監視ソリューションが市場占有を拡大しているが、960Hもその価格性能比により確実に前進している。

対象顧客

ソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域向けビジュアル・セキュリティ・ソリューション担当上級マネジャのアレックス・イダ氏によると、960Hソリューションの需要が大きい分野として、銀行や遊技場そして軍用などが挙げられる。「IPシステムやHD-SDIシステムを使用すれば、960Hアナログカメラよりも高い解像度が得られる。しかし、既にアナログシステム基盤を所有していて、今すぐIPシステムに移行する余裕がない企業や、カジノのようにIPシステムで発生する遅延時間を容認できず、鮮明な画像が必要な環境には、960Hの訴求力が強い。960Hの需要は世界中に存在するが、アナログシステム基盤が確立されている先進国では特にその傾向が強く、相対的に960Hの需要が拡大している。アジア太平洋地域では、マカオ、中国、シンガポール、オーストラリアなどの銀行とカジノへの導入が960Hの牽引役になっている。当社としては、960Hイメージセンサにより、高解像度だけで

なく高感度も実現できることを訴え、他の業種に応用分野を広げ、顧客を開拓していきたい」。

可能性

ソニーは960Hの可能性について楽観的な見方をしている。「現在の出荷実績と市場の反応を見ると、960H製品は市場で存在感を強めつつある。また、960HのCCDイメージセンサとソニー以外のベンダ製プラットフォームの出荷実績を見ても、期待通りの展開になっている。現段階では、960Hイメージセンサを製造しているメーカはソニーだけなので、当社の出荷実績がこの市場の成長を示す指標だ」とイダ氏は言う。

「もちろん、ローエンド・カメラでは依然として旧来タイプのイメージセンサが使用されているが、960Hへの移行は時間の問題だと見ている。その根拠は、有名なブランド企業だけでなく、960Hの導入が始まったばかりの新興諸国のベンダも960Hを採用しているからだ。960H製品は、市場では“960H”ではなく、650 TVLを超える高解像度を備えた高感度のアナログカメラを実現する960Hプラットフォームと認識されている。このような理由から、当社が960HのDVRのサポートを開始すれば、960H市場は間違いなく拡大していくと確信している」。



AMGシステムズ社創設者兼
常務取締役アラン・ヘイズ氏



ダファ・テクノロジー社
製造エンジニア シュビン・ツォン氏



ウェブゲイト社マーケティング責任者
クリス・キム氏



ソニー・エレクトロニクス社アジア太平洋地域向けビジュアル・セキュリティ・ソリューション担当上級マネジャ
アレックス・イダ氏

ツォン氏も同意見だ。「画質に関してはIPシステムやHD-SDIシステムの方が優れているとはいえ、960Hを利用することにより、標準的なアナログシステムを上回る画質を手頃な価格で提供することができる。一部のユーザにはそれだけで十分な説得力がある。HD-SDIソリューションと同様に、既存の同軸基盤

を手直しする必要がない。960Hは、適度な画質の改善をすばやく手軽に実現するためのアップグレードパスになる。

HDが今後の方向性であることに疑問の余地はない。HD-SDIは、IPがさほど合理性を持たない市場の要求に応えるソリューションだ。アナログ基盤を既に所有しているが、今すぐHDに移行するわ

けにはいかない顧客向けに、960Hが市場占有を伸ばしていくと予想される。互いに競合しながら補完しあう技術の登場により選択肢が増え、優れた製品が出揃えば、最も得をするのは顧客だ。遠からずアナログの時代が終わり、より活気に満ちた映像監視の時代が始まろうとしている。



HD CCTV機器の設計と設置



▲HDcctv.com 筆頭理事 トッド・ロックオフ氏

自宅のテレビやブルーレイDVDと同程度の画質が最低でも必要だというエンドユーザ顧客が増え、セキュリティ業界はHD映像に向かって動き始めている。顧客のHD監視に関する要求を満たすため、960Hアナログ機器を発表したメーカーもある。960Hカメラでは、従来のアナログカメラと比較して、水平方向がより細かくエンコードされる。それでも960Hの解像度は、1,080pはもちろん、720pにも遠く及ばない。

つい最近まで、設置業者がHD監視映像を提供するには、メガピクセル・ネットワークカメラしか選択肢がなかった。HDに関する市場の強い要望に押され、多くの構築者が、機器のコストが高い、

設置に時間がかかる、信頼性が低い、マルチベンダ環境での相互運用性が不明など、ネットワークカメラの問題点を克服するか見逃すことで、HD監視ソリューションを実現してきた。

HD CCTV機器の動作は、相当するアナログ機器と非常によく似ている。HD CCTVカメラは、通常のRG-59同軸ケーブルを使用して、最高の再現性により720pや1,080pの実況画像を伝送することができ、圧縮や復元による遅延時間や画質の低下が発生しない。認定済みのHD CCTV準拠機器では、100%のマルチベンダ相互運用性が実現されており、メガピクセルIPカメラに付きまとう大きなリスクの1つが解消されている。

映像システムの設計者にとっては、状況は明らかに好転している。昨年1年間でHD CCTV機器の品揃えが充実し、通常のCCTVを扱った経験のある設置業者がHD監視に移行する準備が整ったからだ。HD CCTVはシンプルだが、初めて取り扱う際には相互運用性、ケーブル長、ストレージ、統合に関する技術的な留意点を認識しておく必要がある。

2013年の中頃には次世代HD CCTV規格が承認される見通しで、構築者と設置業者に次のような新たな機会と利点が

もたらされる。

- ・HDcctv 2.0では、プラグ&プレイ遠隔カメラ制御が導入され、RS-232ケーブルを用意する必要がなくなる。また、双方向音声機能と75メガバイト/秒の2次ダウンケーブル・データチャンネルが追加されるため、圧縮されない1次HDTV信号と並行して、超高解像度の圧縮映像信号を送信することができる。

- ・HDcctv XR (eXtended Reach) は、HDcctv 1.0、HDcctv 2.0においてRG-59ケーブルを使用して、HD-SDIおよび第一世代HD CCTVの2倍の伝送距離を実現する。

- ・HDcctv CX (Cat-X) は、カテゴリ5eまたはカテゴリ6の要件を満たすケーブルを使用してHDcctv 1.0、HDcctv 2.0を伝送する。外付けのバラやアダプタは不要だ。

2009年ではHD CCTVは新しい概念だった。2012年にはHD CCTV機器は過去に例のない成長率を示した。

HD CCTV規格の次世代機能を搭載したチップが近々発表される見込みで、セキュリティ業界におけるHD監視映像への移行がさらに加速するのは確実だ。

大明リゾート、コジェドの高級リゾート施設に HD-CCTVによるフルHD監視システムを設置

【設置場所】 地下4階地上28階に516客室とオーシャンベイ(ウオーターパーク)、8つの大会議室とレストランそして結婚式場など様々な関連施設を有するホテルが、2013年6月13日コジェド(巨済島)地区にオープンした。家族向けの部屋からスイートルームまでの全室が海に面しており、どこの部屋からでも素晴らしい景色を見ることができる。

コガデキョ(巨加大橋)の完成によりプサン(釜山)からの交通もより便利になったオーシャンベイは、韓国南部最大のウオーターパークである。その中で、大明リゾートコジェドはコジェ(巨済)地区でのランドマークとなっている。



【要望内容】 HD-SDI伝送技術に基づくWEBGATE社HD-CCTVソリューションは、既にソラク(雪岳)にあるデルピノ ソルアクリゾート(ゴルフ&リゾート) やイルサン(一山)にあるMVL(エンブル)ホテルでの導入で、高評価を得ている。

大明リゾートコジェドは、リゾートの設計段階からWEBGATE

社HD-CCTVシステムの採用を考えていた。大明リゾートコジェドのセキュリティ担当者は、全てのカメラがフレーム落ちのないフルフレーム映像機能を持つこと、さらに、駐車場入口やロビーのような重要な場所で30フレームの一貫した録画ができることを要望していた。また、管制室で必要な映像をモニタリングできることも施設管理者からの要望だった。

【導入効果】 顧客の要望に基づき、WEBGATE社は、48セットの8チャンネルHD DVR、360台以上のボックスとドームそしてPTZカメラ、52台のモニタをセキュリティ・ソリューションとして納入した。その際、HD-CCTV映像の最高品質を保証するため、映像伝送用に光ファイバを採用した。



結果として、WEBGATE社は、映像画質の劣化やノイズレスで鮮明な映像画像を実現することができた。また、全てのDVRをLANに接続したことで、管理者は必要な区域の監視が簡単にできるようになった。

D-CUBEコジェ・デパート、HD-CCTVシステムに入れ替え

【設置場所】 テソン産業は、2006年コジェにオーシャン・デパートを開業し、2008年D-CUBEコジェ・デパートと改称して現在も営業している。同デパートは、コジェ地区最大のデパートで、数百台以上のカメラ映像を同軸ケーブル経由で中央監視室に送信している。ここではPCタイプのDVRを使い、映像録画だけでなく必要な場所の監視も行っていた。



デパート前方光景とアナログカメラ・システム

【要望内容】 D-CUBEコジェ・デパートは、現行のCCTVシステムを改良して、駐車場の監視や盗難防止、また顧客間のトラブルなどの監視機能を強化する要望を持っていた。しかも、同デパートは、現行の同軸ケーブルをそのまま活用して、フルHD画質を実現することを望んでいた。

HD-CCTVシステムに基くHD-SDI伝送技術は、D-CUBEコジェ・デパートのような要求に対して数多くの優位性を有して

いる。例えば、HD-CCTVシステムは、ロスのないフルHD映像や遅延のないリアルタイム監視、さらに現行同軸ケーブルを使用したフルHD映像の提供を実現することができる。

以上のような理由から、D-CUBEコジェ・デパートは、WEBGATE社HD-CCTVシステムを選択した。

【導入効果】 WEBGATE社の協力企業サラダ社は、現行のアナログカメラ・システムをHD-CCTVボックスカメラC1080BMと8チャンネルHD-CCTV DVR13台と交換した。伝送距離の制限を受けるカメラについては、HD-SDIリピータであるRP102を採用して伝送距離に関する問題を解決した。

D-CUBEコジェ・デパートのCCTV監視者やセキュリティ担当者は、新しいWEBGATE社ソリューションを使用することで問題が一切発生していないことを確認した。むしろ、以前のアナログカメラ・システムと比較して、鮮明で広視野角を有する画像を得られたことに大満足している



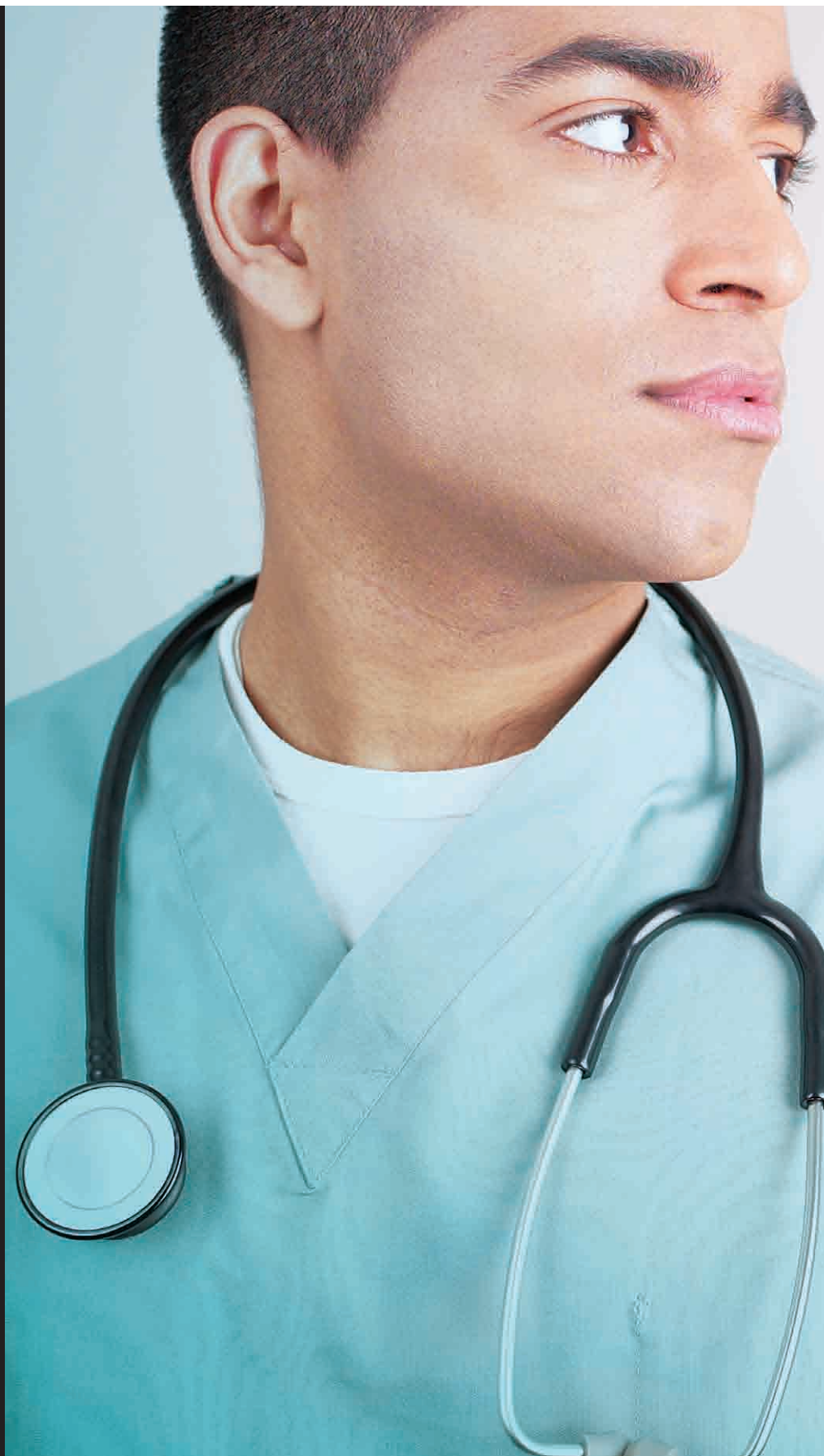


病院の セキュリティ

24時間年中無休で稼働する施設である病院では、患者とスタッフの流れを妨げることのない開放性と、重要区域への不正侵入を防止するセキュリティ対策の両立が要求される。病院のスタッフや患者また来訪者を標的とした犯罪が増加している現状から、効率的な物理的な入退管理と監視システムを統合した、高度なセキュリティが決定的に重要になっている。ワイヤレスロック、資産管理を導入し、物理的な入退管理と論理的な入退管理を融合することにより、過去の投資を活かしながら、相互運用性を備えた多層的なセキュリティ・ソリューションを実現することができ、最終的にセキュリティの強化と効率化そして患者満足度の向上などの利益が得られる。

本稿は下記の三部構成となっている。

- 病院のセキュリティを強化するための処方箋
- 脆弱部を補強し、統合した病院セキュリティを実現
- 医療現場が望む統合



病院のセキュリティを 強化するための処方箋

病院の成長要因とは何だろうか？

犯罪の増加、規制、従業員と患者の満足度の向上が、
医療のセキュリティ対策を加速させる。



以前から、規制はセキュリティ投資を促進する要因だったが、犯罪や救急治療室における暴力事件、カルテの情報漏洩など、最近の様々な出来事によって、効果的な物理的な入退管理や監視の必要性が明らかになっている。犯罪率が上昇し、病院のスタッフと患者そして来訪者への脅威が増えている現状から、高度なセキュリティが最大の懸案事項になっている。

犯罪とデータ流出

医療施設におけるセキュリティの問題が深刻化している。IAHSS (International Association for Healthcare Security and Safety)の報告書によると、病院で発生した犯罪の件数は、2010年には1万5,000件をやや下回る程度だったが、2012年には2万500件以上と、2年間で37%近く増加している。

データ流出もセキュリティ上の脅威である。ポネモン研究所によると、米国では過去2年間に病院10軒のうち1軒でネットワーク侵入事件が発生している。米国保健福祉省の推定によれば、2009年以來、約2,100万人分の患者カルテが医療データの侵害により流出した。

こうした報告や調査結果から浮かび上がるのは、より安全で効果的な統合型セキュリティ・ソリューションの必要性だ。病院が危険にさらされる状況が続いているだけでなく、医療市場そのものが変貌しつつあるため、ビジネス機会が相次いで発生している。「病院が施設の改装や拡張を計画するにあたり、セキュリティ・ソリューションを新たな観点から見直し、現在と今後の要求を満たせるかどうかを検討している。これは、当社にとり重要な要因の1つだ」とCEMシステムズ社国際営業担当上級取締役アンドリュー・フルトン氏は言う。「英国の病院など公的機関でも、既存のセキュリティ・システムの評価が行われ、最新技術の導入に向けて需要が拡大している。患者とスタッフのセキュリティも、病院が継続的に対処すべき重要な問題だ」。

EMEAの高齢化

HISリサーチ社の予測によると、EMEA(欧州、中東、アフリカ)における病院の入退管理市場は、2012年から2017年の間に10%の成長が見込まれている。高齢化の進行による介助の必要性の増大、患者の健康状態を観察する統合

型技術の利用の増大、病院の入退管理とセキュリティの強化を望む医療業界全体の需要などが理由だ。

アジアの新しい動き

アジアでは、人口増加に伴う需要への対処が国民保健サービスの急務になっており、医療が急速に発達している。ただし、アデムコ・セキュリティ・グループのアデムコ・ファーイースト社営業&マーケティング担当取締役パトリック・リム氏によると、重大な転換期を迎えているのはむしろ私立病院だという。「一部の私立病院は、患者の満足を真剣に考えている。優れた治療とサービスを提供するには、安全で効率的で生産的な医療環境が重要だという経営陣の強い信念がある。入退管理ソリューションなど、私立病院のセキュリティの要求は、国立病院を遙かに上回る。患者のプライバシーと安全性と満足度を確保する取り組みについては、国立病院よりも私立病院の方が関心が高い。病院の評判を落としかねない盗難や犯罪、侵入事件などは絶対にあってはならないと考えている」。

「米国の医療機関がセキュリティシステムを計画するにあたり、法令や各種規定に左右される部分は非常に大きい。施設の改築時や改装時には地域の最新情報を収集し、確実に規制を守ることが重要だ。」

法と規制

HIPAAとその他の法律

米国のHIPAA(Health Insurance Portability and Accountability Act of 1996、医療保険の相互運用性と説明責任に関する法令)は最も広範囲に及び規





アデムコ・ファースト社営業&マーケティング担当取締役パトリック・リム氏

制で、米国のセキュリティ支出に最も明白に影響している。HIPAAのプライバシーに関する規則は、患者情報の管理の厳密化を要求している。「医療記録部門では、一般向けに公開すべき情報とは別に、患者の健康状態に関する情報の機密を守らなければならない」とディーコネス・医療センタの施設運用担当部長ベン・マイシャ氏は言う。「そのため、これらの

情報を保管している区域では、厳密に管理された追跡可能な入退管理が必要になる」。

全国的なレベルでは、ジョイント・コミッション社が米国内の2万以上の医療機関および医療プログラムの認証を行っている。アロンソン・セキュリティ・グループの専門サービス担当取締役ウィリアム・プランテ氏によると、独立系非営利機関であるジョイント・コミッション社が具体的な方針を策定し、監査時や事件発生後の科学捜査に耐えうる工程を実施するよう病院に要請している。

HIPAA以外にも多くの規制が存在する。HIDグローバル社企業エンドユーザ戦略担当取締役シェイラ・ストロムバーグ氏は、規制を順守しない場合には罰金などの処分が科せられ、施設が閉鎖に追い込まれる懸念もあると言う。主な規制

としては、米国再生・再投資法に関連して、HIPAAに定められたプライバシー保護の範囲を個人医療記録の取り扱い業者まで拡大する規定や、医療情報のセキュリティ違反が発生した場合の通知を義務付け、電子カルテに関するデータセキュリティの基準および手続きを盛り込んだHITECH ACT(2009 Health Information Technology for Economic and Clinical Health Act、経済的および臨床的健全性のための医療情報技術に関する法律)がある。病院のセキュリティを規定するその他の機関としては、医療機関の臨床的な側面に重点を置き、セキュリティと安全性に関係する業務慣例についても規定しているCMS(Centers for Medicare and Medicaid)、『医療および社会サービスの職場における暴力防止のためのガイドライン』(#3148



から へ



GDSF JAPAN は、「Global Digital Surveillance Forum Japan」から「Global Digital Security Forum Japan」に進化します。

これまでの GDSF JAPAN のテーマは映像監視主体でしたが、2013 年からセキュリティ全体を網羅する内容となります。

映像監視ソフトウェアが統合ソフトウェアに拡張したように、GDSF JAPAN も拡張します。もちろん主役はデジタル映像監視です。

その内容は GDSF JAPAN 2013 で体験していただくことができます。

GDSF JAPAN 2013 は 2013 年 9 月 27 日開催です。

GDSF JAPAN 事務局
gdsf@asj-corp.jp

VIVOTEK のカメラがインドの有料道路料金所にセキュリティを提供

背景

有料道路料金所の管理・運営においては、信頼できる監視システムが重要な役割を果たします。要請を受けて調査を行うとき、交通量や料金徴収、ナンバープレート番号などのデータがはっきりと記録されている必要があります。さらに、予期せぬ事象が発生した場合、ビデオ映像はチェックすべき最も貴重な証拠となり得ます。2012 年後期、世界をリードする交通管理ソリューションインテグレータ、International Road Dynamics Inc. (IRD) は、インドの有料道路料金所に関するプロジェクトを実施し、このプロジェクトに高品質の VIVOTEK 製品が選ばれました。

30 年以上にわたり世界で事業を行ってきた IRD は、ITS (高度道路交通システム) の分野における一流インテグレータです。この企業は、高度交通管制および通行料金管理技術を専門分野としています。このプロジェクトに際し、IRD はプロジェクトに含まれるすべての有料道路料金所の円滑な運営を確約できるソフトウェアと、卓越した柔軟性と相互運用性を備えた高品質のカメラを探していました。VIVOTEK のインド代理店 AUTOCOP の SI パートナーである EPhon Technologies との協議を経て、優れた画質、厳しい環境条件への対応性、高度なデイ&ナイト機能、サードパーティソフトウェアとの卓越した互換性を備えた VIVOTEK の IP カメラが採用されました。



ソリューション

このプロジェクトには、VIVOTEK の IP カメラ 800 台 (IP8332 が 700 台、FD8136 と IP8331 がそれぞれ 50 台) が導入され、約 50 箇所の有料道路料金所でセキュリティを提供します。

有料道路料金所アクセスレーンの監視用には、IP8332 および IP8331 砲弾型屋外用 IP カメラが設置されました。いずれも IP66 仕様のハウジングと防水ケーシングを備え、過酷な気候条件からの遮蔽と防塵性を提供しています。変化する光線条件にリアルタイムで対応し、常時優れた画質を確保できるように、IP8331 はデュアルバンドレンズと、有効範囲最大 10 m の内蔵赤外線照射装置を搭載、IP8332 はリムーバブル IR カットフィルタと有効範囲最大 15 m の内蔵赤外線照射装置を搭載し、車両ナンバープレートのクリアな画像を実現しています。さらに、いずれのカメラも不正操作検出機能をサポートしています。遮蔽や方向移動、スプレー塗装などの不正操作を検出し、即時に管理者にアラートを送信します。

料金所ブースそのものを監視するため



に、VIVOTEK の世界最小 1 メガピクセル IP 固定ドーム型カメラ、FD8136 が選ばれました。簡単な設置、Power-over-Ethernet (PoE) サポート、リアルタイム H.264、MPEG-4、MJPEG トリプルコーデック圧縮技術により、FD8136 は幅広い屋内監視用途に理想的なオプションとなっています。料金所ブース内に設置し、FD8136 の広角視野であらゆる車両サイズの運転者のクリアな画像をキャプチャできます。加えて、焦点距離が選択可能な FD8136 は、柔軟な画角が必要に応じて運転者と乗客を強調した画像を捉えることができます。

お客様のフィードバック

IRD のインド運営責任者 Vishal Rajput 氏は、「VIVOTEK のカメラをテストして、それらが技術的および商業的に有効であることが分かりました。現場での結果も期待通りのものでした。また必要なきいつでも、EPhon Technologies が素晴らしい VIVOTEK 製品のサポートを提供してくれています。今後予定されている LPC、LPR、ブースセキュリティ、ANPR のプロジェクトすべてにおける監視ソリューションに、EPhon Tech の提供する VIVOTEK 製品をデフォルトの選択肢とすることを喜ばしく思っています」と語っています。



もう死角はありません

360° のシームレスな監視ソリューション

パノラミック PTZ

- 360° サラウンドビュー
- 光学ズーム
- フル HD の鮮明度
- 自動追跡
- 超滑らかな PTZ



カメレオンは体の周囲完全 360 度の視野を持っていることをご存知でしたか？

VIVOTEK パノラミック PTZ も同じです。メガピクセル魚眼カメラをスピードドーム型カメラと同期します。このため、魚眼モデルからサラウンドビューでモニタリングするとき、簡単にスピードドーム型カメラからのフル HD ビューで細部まで確認できます。



“Guidelines for Preventing Workplace Violence for Health Care & Social Service Works”) を発行している労働安全衛生管理局 (Occupational Safety and Health Administration、OSHA)、国立労働安全衛生研究所 (National Institute for Occupational Safety and Health) がある。また、IAHSS発行の小冊子『医療施設向けセキュリティ・ガイドライン』(Security Guidelines for Healthcare Facilities) など、潜在的な脅威や危険を軽減するのに役立つ業界ガイドラインがある。

「医療に関連するITについての法律は60ほどあり、30州以上で制定されている。どの法律もセキュリティにある程度の影響を及ぼす」とサウスウェスト・サーベイランス・システムズ社CEOスコット・パートレット氏は言う。

ほとんどの連邦法および州法に、医療機関と保険会社さらには患者とその医療履歴および個人情報に接する企業とに関するプライバシーとセキュリティに関する厳密で詳細な規定が存在する。「実務的な観点から見ると、これらの法令があるため、関係諸機関は適切な理念の実施に全力で取り組まざるを得ない。IP映像や映像解析の隆盛など、セキュリティと監視の最近の進歩を見ると、理念の実施に必要な費用を削減できる可能性は十分に

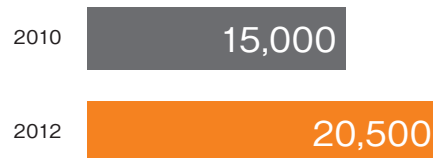
ある。現在は手作業で行われている一部の物理セキュリティ対策、例えば制限区域への立ち入りの記録などを自動化することができる」とバレット氏は話す。「これは可能性の一例に過ぎない。業界が進歩を続け、法令がさらに高度化していくにつれ、新たなビジネス機会が次々と出現するだろう」。

緊急事態

「州法と連邦法で規定されるセキュリティが高度化しており、医療機関で発生した『過誤案件』については即時の報告が義務付けられるようになった」とストームバーグ氏は指摘する。「例えば、物理セキュリティの違反や、機密性の高い患者ファイルへの不正アクセスなどについては、監査と追跡と報告手順を入念に作成し、実行することで対処することができる。過誤案件は、医療機関のセキュリティ最高責任者が夜も眠れない思いをするほどのビジネス要因だ。適切なセキュリティ対策、手順、事前防止策を講じれば、こうした事件の発生を最小限に抑え、州や連邦政府から罰金を科せられずに済む。法令に違反した場合に医療機関が支払う罰金は1件あたり100ドルだ。民事の場合、HIPAAのプライバシー規則の複数の条項に違反すると、年間最大2万5,000ドルになる」。

米国の医療機関がセキュリティ・シ

2010年、2012年に 病院で発生した犯罪の件数



出典: IAHSSの報告書

ステムを計画するにあたり、法令や各種規定に左右される部分は非常に大きい。「市や郡のレベルに至るまで、非常に細かい規定が存在する場合がある」とインガソル・ランド・セキュリティ・テクノロジーズ社医療マーケティング責任者アン・ティメ氏は言う。「施設の改築時や改装時は、地域の最新情報を収集し、確実に規制を守ることが重要だ」。

英国では、医療機関における入退管理に関する法令はない。「ただし、医薬品など特定の物資の管理について規定した英国内務省の法令がある」とTDS社常務取締役ジョン・ダヴィエス氏は話す。「医薬品の監査とトレーサビリティは、病院のセキュリティ対策の強力な促進要因になる。患者とスタッフが必要な場所に簡単に立ち入れるようにする一方で、規制区域への不法侵入防止の適正なレベルのセキュリティが望まれている」。

アジアでは、病院のセキュリティ関連の法規制が十分に整備されていない。「病院には高価な医療機器が多数存在し、大量の医薬品や検査室そしてカルテがあり、多くの人命に関わる業務が行われているという事実を考えると、悪意や犯罪の標的になる危険は大きい」とリム氏は言う。「これはアジアの病院だけの問題ではない。医療業界では、自分たちを取り巻く潜在的なリスクへの認識が高まりつつある」。



アロンソン・セキュリティ・グループ 専門サービス担当取締役ウィリアム・ブランテ氏



インガソル・ランド・セキュリティ・テクノロジーズ社医療マーケティング責任者アン・ティメ氏

HAVE A TRY? WEBGATE

比べればわかる、高画質



さらに高度で、上質なセキュリティへ。

世界が認めた高品質、WEBGATE HD-SDIシリーズ

HD-SDIボックスカメラシリーズ



C1080B
HD-SDIボックスカメラ
2.1メガピクセル高画質・デイナイト&高機能
タイプ / 低照度環境下でも高画質映像が可能
(白黒:0.0005ルクス/カラー:0.2ルクス)

HD-SDI DVRシリーズ

4ch 超小型 A4サイズ



HDC400M NEW!
超小型HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR
A4サイズ / 解像度1080p/720p入力 / 録画
フレーム:30fps@1080p / ウェブブラウザ
モニタリング

4ch|8ch|16ch



HD400F / HD400H / HD800H / HD1600M
HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR
解像度1080p/720p入力 / 録画フレーム:400H
(60fps@1080p) / 400F・800H・1600M (120fps
@1080p) / ウェブブラウザモニタリング

HD-SDIアクセサリ

HD-SDI↔SD



HD2SD-L
HD-SDI→SD(アナログ)コンバーター
SD(アナログ)1出力+HD-SDIスルーア
ウト1出力 / BNC 1ch入力 / 2ch出力
(SDIスルー出力×1/アナログ出力×1)

WEBGATE WEBGATE 日本総販売代理店

TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部
関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906

販売代理店募集中

シモモビル2階
www.tenpo.co.jp
製造元 WEBGATE



脆弱部を補強し、 統合した病院セキュリティを実現

医療施設の内部では場所により脅威のレベルが異なる。本稿では病院の脆弱な部分を洗い出し、安全な病院を構築する方法を探る。

24時間年中無休で稼働する病院では、患者とスタッフの流れを妨げることのない開放性と、建物内の重要区域への不正侵入を防止するセキュリティ対策の両立が要求される。病院には、昼夜を問わず厳密な管理が必要な医薬品が保管されている。機密厳守が求められる患者記録もあり、産科病棟で乳児の誘拐が起きないように絶えず目を配る必要もある。セキュリティ責任者は、患者と従業員と来訪者を守るため、数えきれないほどの難題を抱え、奮闘している。

病院は、他の環境とは事情が異なる。「病院のセキュリティは非常に複雑で、施設の内容により起こり得る脅威を認識するだけでは足りない。病院の各部署へのアクセスがどのような方法で管理されているかを知ることが重要だ」とサウスウェスト・サーベイランス・システムズ社CEOスコット・パートレット氏は言う。「最新の病院では通常2つの重要なステップがある。第1のステップは、病院の物理レイアウトと構造だ。現代の病院設計は、効率性を配慮してゼロの状態から行われる。つまり、病院の物理構造によりスタッフの生産性を損なわずに適切なセキュリティが保たれる。例えば、新しい病院を設計時には、建設会社は病院で働く予定のスタッフと面談し、救急医の一般的なワークフローや、救急医が効率良く職務を遂行するために必要なシステムや施設について話を聞く。長い距離



を移動したり、複数のセキュリティ・チェックポイントを通過したりせずに患者を治療できるようにするにはどうすべきか、この面談を通じて理解を深める。この第一段階を徹底的に行えば、第二段階での自動入退管理の導入が容易になる。病院のセキュリティに関する要求と効率性のバランスを取ることが非常に重要だからだ。これは古い歴史を持つ医療機関ほど大きな問題であり、適切な技術を導入するきっかけになることもある」

「安全な病院を構築する第2のステップは、IDに基づくセキュリティ・ポリシーの導入だ」とバレット氏は言う。「通常、スタッフが各自のアクセス・レベルに対応するバッジを着用するか、磁気キー

カードを使用して、患者情報を記録した情報システムなどが収容されている施設に電子的な手段で出入りする。病院は金融機関や民間情報機関とは異なり、医療というビジネスの性質上、施錠するわけにはいかない。質の高い医療を提供するためにも、病院内をスタッフがすばやく効率的に動き回れなければならない」。

「病院のセキュリティは複雑で、電子的入退管理だけではセキュリティの全ての問題の解決策にならない。病院内の様々な場所に、監視システムの新たな用途がある。」

入退管理による警備

業務の効率化のため、企業向けの入退管理システムを選択する病院が増えていく。鍵の代わりに入退管理資格情報を使用してアクセスするようになれば、事件発生時に特定の場所に入入りした人物が明らかになり、薬局やデータセンタのセキュリティを強化できる。「病院が入退管理を導入する理由は大きく分けて2つある」とAmagテクノロジー社南東部地域営業責任者マット・ヴェレク氏は言う。「第一に、病院の機密情報や重要区域での入退管理の重要性は高い。第二に、調査や監査の観点からこれらの区域への出入りが許可されたスタッフを特定できる監査機能の重要性が高まっている」。

例えば薬局では、医薬品のトレーサビ

リティを実証する必要がある。「新生児の安全を守るため、新生児室には許可されたスタッフと家族しか立ち入れないようにする必要がある」と、TDSi社常務取締役ジョン・ダヴィエス氏は言う。「精神病棟は関係者以外は立ち入り禁止にして、不安定な患者を守るとともに、1人で出歩いている危険な患者の抜け出しを防止する必要もある。放射線やその他の危険物質を使用するX線室などの区域も、事故を防ぐため無断立ち入りを禁止する必要がある」。

統合型映像システム

病院のセキュリティは複雑で、電子的入退管理だけではセキュリティの全ての問題の解決策にならない。病院内の様々な場所に、監視システムの新たな用



途がある。救急治療部や駐車場そして玄関などは、患者と従業員の安全を確保するため、常に監視する必要がある。さらに、適切なスタッフが常に映像を確認し、事が起こればすぐに保安担当者が対処できるように、セキュリティ・モニタを備え付ける場所についても十分な配慮が必要だ。



GDSF JAPAN2013 は、セキュリティの最新技術と市場動向を知ることができるイベントです。その名の通り、世界のセキュリティ企業が、各社の最新技術や製品を披露いたします。今年は、スケールアップした GDSF JAPAN2013 で最新セキュリティ産業に触れることができます。詳細は、下記 URL でご確認ください。

http://www.asj-corp.jp/gdsf_japan2013/

GDSF JAPAN 2013 (Global Digital Security Japan) 開催概要

日時	2013年9月27日 10:00 - 18:00
会場	東京秋葉原 UDX ギャラリー NEXT
内容	最新セキュリティ機器およびシステムに関するセミナーと展示
聴講	下記 URL で受付中 http://www.asj-corp.jp/gdsf_japan2013/audience/form.html

お問い合わせは下記までどうぞ

ASJ 合同会社 GDSF JAPAN 2013 事務局

Eメール: gdsf2013@asj-corp.jp TEL: 03-6206-0448 FAX: 03-6206-0452



ワールドワイド・セキュリティ社
CEO兼社長ケネス・マラス氏



HIDグローバル社企業エンドユーザ戦略
担当取締役シェイラ・ストームバーグ氏

「IP監視表示と他の情報システム、入退管理システムを統合すれば、病院内の様々な部署を監視するとともに、ワークフローを通じてスタッフを監視できるようになり、警報の生成や、重要区域への不正アクセスの自動的な防止が可能になる。この目標を達成するため、病院の内外の文字通り全ての職務空間にカメラを設置する」とバレット氏は語る。「今日の病院施設にHDネットワークカメラが必要不可欠なのは、まさにこれが理由だ。当社が面談したある医師は、バッジの色やバッジに印刷されたバーコード、あるいはメモリに記録された特定の画像に基づいて、カメラが監査イベントや入退管理イベントをトリガーできるようになれば、患者を危険にさらすことなく、ほぼ完全な入退管理の自動化が遂に実現されると語った」。

入退管理が一段階進化し、映像監視と連携するようになれば、これらの構成機器が強力なセキュリティ管理ツールに変わり、病院経営者へのデータ提供が可能になる。「現在利用可能な技術を使用すれば、ソフトウェアに組み込まれたアクセス権の設定に従い、部署別に異なるタイプのアクセスを作成し、ハードウェアを稼働させることが十分に可能だ」とワールドワイド・セキュリティ社CEO兼社長ケネス・マラス氏は言う。「例えば、生体認証を利用して、特定区域への従業員の立ち入りを禁止または許可するシステムを設計することができる。また、リスクの高い区域やセキュリティ強化区域における人物の動きを監視するため、ビデオクリップの生成や長時間の監視を行えるカメラを導入することもできる。様々な理由から、医薬品の保管場所や、医療記録の流出が起こり得る場所などに誰が出入りしているのかを病院側が知る必要が生じる場合がある」。

病院におけるHD画像

「HDカメラには、鮮明さや高解像度という直接的な利点がある。アナログカメラは1カ所に限定した用途で使われてきたが、HD画質ではカメラの視界が広がる。その結果、導入と操作に必要な費用と労力が少ないPTZの要求が変化しつつある」とアロンソン・セキュリティ・グループの専門サービス担当取締役ウィリアム・ブランテ氏は言う。

「病院は地元警察と良好な協力関係にある場合が多く、捜査協力のため、特定の個人の映像の提出を求められることがある。その際、HDカメラの鮮明な画像が威力を発揮する。また、所持品の盗難事件が起こってもHDカメラを使用した捜査で解決される可能性が高いので、従業員の満足度も向上する」とディーコネ

ス・メディカル・センタ施設運用担当部長ベン・マイヤ氏は言う。

生体認証

「院内にはX線室や小児科など、立ち入りを制限しなければならない区域がある。こうした区域ではセキュリティをさらに強化するため、立ち入りの際に複数の形式の認証を行う場合もある」とCEMシステムズ社国際営業担当上級取締役アンドリュー・フルトン氏は言う。

「最高のセキュリティが要求される場所、例えば、生体認証を含む多角的認証を行うことができる。そうすれば、読み取り装置にカードを差し込んだ人物が、カードの本来の所持者と同一人物である確率が高くなる」とHIDグローバル社企業エンドユーザ戦略担当取締役シェイラ・ストームバーグ氏は言う。「指紋や手や顔の幾何モデル、眼球の虹彩パターンなどの識別情報は借りることも盗むこともできない。そのため、本人認証の手段として生体認証の信頼度は高い」。

ネットワーク接続された入退管理環境なら、より簡単に制限レベルの管理を行うことができる。「必要な場所に生体認証の読取装置を設置し、ユーザが各自のスマートカードと指紋を使用して認証を行うと、入室記録が制御機器を介してTCP/IPネットワーク経由で中央のサーバにリアルタイムでアップロードされる」とストームバーグ氏は説明する。「オープン・アーキテクチャを採用したシステムの場合、制御機器に別のアプリケーション・モジュールを統合して集中的な管理とレポートを実行し、生体認証による入室記録データと他の情報の相関付けを行うこともできる」。

医療現場が望む統合

ワイヤレスロックと資産管理により、病院全体の効率性を高めると同時にセキュリティを強化することができる。

医療というストレスの多い環境では、より高度な制御が必要だ。統合型システムを導入すると、病院のセキュリティ・スタッフの効率性が向上し、より安全な環境が生まれる。ワイヤレス・ロックと資産管理を導入し、物理入退管理と論理入退管理を融合することにより、過去の投資を活かしながら、完全な相互運用性を備えたセキュリティ・ソリューションを構築することができ、最終的にセキュリティの強化と効率化そして患者満足度の向上を実現し、実り多い成果が得られる。

医療施設で標準になりつつあるワイヤレス電子ロックは、あらゆる場所で複雑さを減らすという原則に基づいている。「ワイヤレス電子ロックは、施設を『バッジアクセス』環境にするための低コストな手段になった。導入時に専門知識はほとんど不要で、アクセスや使用状況に関するセキュリティ報告の作成も可能だ」とディーコネス・メディアカル・センタ施設運用担当部長ベン・マイヤ氏は言う。

設置が容易であることも、ワイヤレス・ロックの普及を促進する重要な要因だ。ワイヤレス・ロックの導入時にドアの配線が不要なため、有線ソリューションよりも簡単で低コスト、迅速で看護の邪魔にならない。「有線式の装置を取り付けるのが難しい場所や、非実用的な場所でも、ワイヤレス・ロックなら簡単に設置することができる」とTDS社常務取締役ジョン・ダヴィエス氏は言う。ワイヤレス・ロックは、病院中にケーブルを



張り巡らす必要がなく、工事の際に防塵や感染予防に神経を使う必要も少ないというメリットがある。

ワイヤレスロックを導入すると、潜在的に狙われる懸念のある配線に依存する有線システムよりもセキュリティが強化される。「ワイヤレスロック・システムでは、エンドユーザが中央のネットワーク・コンピュータや遠隔ワークステーションから、施設内の様々な場所の立ち入りを制限することができる」とワールドワイド・セキュリティ社CEO兼社長ケネス・マラ氏は言う。「ワイヤレス・ロック・システムは、セキュリティ設備の不可欠な要素だ。ロック・システムに生体認証の制御や区域内カメラを統合できるため、立ち入りを規制し、出入りする人物を撮影することで、高度なセキュリティと柔軟性が得られる」。

力強いパルス

資産管理の自動化はまだ普及の初期段階に過ぎないが、潜在力は非常に大きい。「米国だけでも病院の数は1万以上、病床数は170万以上であることを考えると、このソリューションの採用機会は無数にある」とジグビー連合戦略的マーケティング担当理事リャン・マレイ氏は話す。「導入を促進している要因としては、技術自体の低コスト化、機器間の相互運用性を確保するジグビー・ヘルスケアなどの規格の導入、そして、医療機関の要求が挙げられる。医療機関が単に治療だけでなく、患者の予後で評価される傾向が強まっているからだ」。

RFID技術やメッシュ・ネットワークを利用する資産管理は、病院の透明度を大幅に高める。「重体患者の治療に欠か



せない高額な備品を、RFIDタグで追跡することができる」とダイヴィエス氏は説明する。「高齢者や精神病患者、幼児など、自分自身や他人に危険を引き起こしかねない人物を、RFIDタグを使用して追跡することもできる。さらに、医薬品やその容器をRFIDタグを使用して追跡し、不正な持ち出しを防止することも可能だ」。

最新のRFIDタグには、位置情報を検知するためのGPS機能が搭載されている。「特定の資産や人物の検索時に非常に役立つ。通信距離の長い小型のタグが手頃な価格になった。こうしたタグの中には、双方向や3方向の通信機能や、区域内カメラとの統合機能を備えているものもあり、警報イベントの発生時に、タグを通じて周辺のセキュリティ・システムを起動することができる。これらのタグをセキュリティ・システムに組み込み、警報監視やイベント監視を行えば、人物や備品が本来あるべき場所に存在しているかどうかを確認することができる」とマラ氏は言う。「追跡対象の資産の現在位置を調べ、資産と通信し、捜査員と映像を確認して資産がどこにあるかを突き止める作業が、全て同時にできるようになった。病院業界は、患者とスタッフの動きを監視する目的でRFID技術を最初に採用した業界の1つだ。病院という環

境の中で、機器、備品、検体の管理にRFIDタグを非常にうまく利用している。以前は、患者の検体を取り違えるのは日常茶飯事だったが、RFIDタグの導入後は非常に少なくなっている」。

「物理入退管理と論理入退管理を1つの資格情報を使用して行い、融合することで、ユーザの利便性を高めると同時にセキュリティを強化し、導入と運用のコストを削減することができる。」

合理的な選択

物理入退管理と論理入退管理を1つの資格情報を使用して行い、統合することにより、ユーザの利便性を高めると同時にセキュリティを強化し、導入と運用のコストを削減することができる。「IPベースの入退管理環境では、物理セキュリティとITセキュリティの間に明確な相乗作用がある。このようなソリューションを導入することで、これまでに投資してきた資格情報を活かし、ネットワーク・ログオンの論理入退管理をシームレスに追加して、企業ネットワーク、各種システム、施設を横断する形で、完全な相互運用性を備えた多層型のセキュリティ・ソリューションを構築することができる。より一貫性のある理念を実行し、統

合された監査ログを全社で簡単に使用することもできる」とHIDグローバル社企業エンドユーザ戦略担当取締役シェイラ・ストームバーグ氏は言う。「IPベースのネットワーク入退管理の特長を得るには、拡張性の高いオープン・プラットフォームを使用することが重要だ。以前は孤立していたシステム間でシームレスに情報を交換することができる。オープン規格に基づくシステムであれば、ソリューションの拡張、カスタマイズ、統合が簡単に行えるだけでなく、より強力なセキュリティを実現することができる。規格ベースのソリューションでは、ユーザー固有の要求に合わせて様々な製品と供給者を自由に選べるという利点もある」。

「ワイヤレス・ロックを使用して物理入退管理と論理入退管理を統合すれば、エンドユーザ側の複雑さを増やさずに、バッジとパスワードというセキュリティにさらに1段階上のセキュリティを追加することができる」とサウスウェスト・サーベイランス・システムズ社CEOスコット・バレット氏は言う。「また、ワイヤレス・ロックの導入により、アクセス先のリソースのセキュリティが自動的に高まる。セキュリティ・システムは、干渉が少ないほど利用価値が高い」。

物理および論理入退管理システムは、顧客向けにカスタマイズしたセキュリティ管理システムの構築に必要な全ての技術を統合した包括的なソリューションだが、購入後すぐに使えるようなものではないとマラ氏は警告する。「このようなソリューションを提供する企業は、ソリューションの導入先で、高度なセキュリティ・ソリューションに関連する全ての作業を長期にわたって請け負う最有力企業としての地位を



ディーコネス・メディアカル・センタ施設
運用担当部長ベン・マイヤ氏



TDSi社常務取締役
ジョン・ダヴィエス氏

築いているが、そうでない企業もある。そのため、プログラミング、トラブルシューティング、必要に応じて再設計に至るまで、技術のあらゆる側面を理解しておくことが重要だ。

これにはマイヤ氏も同意見だ。「現在ほとんどの医療施設がこの段階にあり、問題を抱えている。ITセキュリティ・ソリューションと入退管理の相関や連携がうまく行かない場合が多い。この場合、各部門でデータベースを管理する必要がある」。

「各部門がそれぞれ別のプロバイダから調達したシステムが併存する状況を、非常によく目にする。このようなシステムを連携させるのは一筋縄では行かない場合がある」とアロンソン・セキュリティ・グループ専門サービス担当取締役ウィリアム・プランテ氏は言う。「このプロセスをいかに成功させるかが、組織の成功につながる」。

新しいセキュリティ技術を白紙の状態から導入できるほど資金の豊富な医療施設や病院は少ない。そのため、オープン規格に基づくソリューションが理に適った選択になる。「それぞれ別の時期に別のユーザーが導入した物理入退管理システムと論理入退管理システムが存在する場合、セキュリティ・ツールの統合や互換性を確立できない懸念がある」と



計画の続行

ほとんどの場合、最も広い範囲で適合性に影響するのは物理入退管理だ。そのため、物理入退管理システムのベンダが、RFIDデータを読み取るUSBキーなどの統合構成機器を提供していれば、論理入退管理システムとの統合が非常に容易になる。

物理入退管理のベンダが、ワイヤレス・ロックや統合機能を提供していない場合、統合作業が大変な難事業になる危険がある。24時間365日体制で人命を預かる病院では、セキュリティ基盤全体を取り換える必要に迫られることも多い。

複数のベンダを使用してシステムを構築するのは、タイミングに比べればそれほど大きな問題ではない。物理入退管理システムと論理入退管理システムの設計

ダヴィエス氏は言う。「論理入退管理の設置業者の多くが物理セキュリティとの互換性を謳うようになった一方、物理セキュリティの設置業者が論理セキュリティ・システムとの自動的なリンクを実現するには、まだ課題が残る」

ほとんどの病院が、セキュリティを投資ではなく必要経費と見なすため、費用対効果の高いソリューションが関心の的になる。費用対効果を追求する一方で、患者や従業員の保護とワークフローの効率性のバランスを取る必要もある。「十分に活用されない資産など、非効率性による損失が大きいことは、ほとんどの病院が認識している」とマレイ氏は言う。「患者の満足度の向上は利潤をもたらす。また、病院が患者の予後により評価される傾向が強くなっている。技術を利用してサービスを改善すれば、質の高い医療

が同時期に行われるか、最低でも、それぞれが比較的オープンであれば、状況は理想的と言える。構築者との共同作業でベンダが後から関与する場合には、オープン統合が必須条件である。

構築者が成功を収めるには、病院の特殊性を理解する必要がある。医療機関では、コスト中心の予算が他業種よりも少なく、厳密な規定に従って入念に技術調達を計画する傾向がある。技術の適合性や危険への影響を完全に理解する方がコストよりも重要なのだ。全面的に「壊して交換」するよりも、段階的に投資を行い、基盤を継続的に改良する方が魅力的だ。そのため、異種混在型環境が抵抗なく受け入れられる。

出典: Southwest Surveillance Systems

を提供して病院の収益を増やすことが実際に可能になる」。

いわゆる「オバマケア」制度下で、病院への償還額が患者満足度スコアと部分的に連動するようになった。「基本的なセキュリティ対策さえ講じていれば防げるような事件の発生は、組織の社会的評価に極めて有害な影響を及ぼす。犯罪率が上昇し、病院のスタッフと患者と来訪者への脅威が増えている現状から、高度なセキュリティの重要性が高まり、その実現が難しくなっている」とAmagテクノロジー社南東部地域営業責任者マット・ヴェレク氏は言う。「ITとセキュリティが融合し様々な統合が可能になったため、システムは経営ツールの性質を帯びるようになった。その結果、セキュリティは必要経費から投資へと根本的に変わろうとしている」。



よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル代表取締役CEO 佐々木宏至

今回は世界のトピックそして日本市場について語る

日本の監視カメラ市場は特殊か

監視システムの世界市場で起きていることと日本市場で起きていることとの差異は何か、数量ベースでもIPの成長が期待値の半分程度かそれ以下で、発展途上国と同様にローエンドではアナログが圧倒的に強い。そして、最も驚くことは、ミドルからハイエンド市場においても、VMSを採用せずにNVRでまとめる事例が最近顕著になってきている。その原因として複数を挙げるができる。

1. メジャープレーヤが複数存在する国は日本以外にはない。
2. その主要プレーヤが家電系。
3. 映像が映るところまでしか仕様を規定せず、肝腎の運用に関する論議を展開していない。
4. セキュリティ産業界にITスキルとITリテラシを持った人材がほとんど存在しない。
5. ゼネコンやサブゼネコン側が、ネットワーク映像システムに関する知識や経験が乏しく、コスト優先でシステムを構築したがる。

日本市場の今後

民生品市場の消費動向は常に最先端商品を求め、その質量ともに世界トップクラスを示している。しかし、物理セキュリティに関しては製造から販売に至るまで安全神話を盲信し、ビジネス社会でも性善説を前提としている。これでは今後もセキュリティ産業界で劇的な変化はないと私は見ている。

唯一成長できる可能性があるのは超ハイエンド・マーケットと、カメラをITと同じ土俵で活用すること、そしてプロフィット・ツールとしての用途を確実に拡大していくことではないだろうか。

近年急成長した会社

ここでまず挙がるのが中国のハイキビジョン社、そしてカナダのアビジロン社であることは衆目の一致するところだろう。そのアビジロン社に対してVMSベンダは距離を置いている。その理由は、及第点レベルのカメラと水準以上のVMSを抱き合わせて提供して、コスト面の優位性を維持するという戦略で業績を伸ばしているからだ。極端に言えば1案件の工事以外の収益は確実に総金額が大きいほど儲かる。つまり、工事規模の大小に関係なく、単純に手間は一緒ということだ。VMS各社はNVR販売にはブレインストールなどで携わっているが、カメラ販売には参入していない。弊社にもこの会社から提案話が来たことがあったがさすがに躊躇した。

一方、ハイキビジョン社は、中国特に深圳にある実体の見えない企業とは全く異なり、しっかりと研究開発(R&D)から取り組んでいる。その製品出荷数たるや、日本市場のトップメーカと比較してNVRで100倍、カメラで50倍以上に達している。発展途上のローエンド・マーケットで、品質とコストのバランスから爆発的に売れている。その結果、NVRでもカメラでも世界市場の

上位企業となっている。

近年下方に推移している会社

近年業績が厳しい会社は、概ね欧州の経済停滞や市場の細かなセグメント単位の要求に対応しきれていない。その代表的な要求がITで、北米市場のハイエンドの要求はまさしくITである。中南米のブラジルでは意外にもIT的なものが好まれている。APAC(アジア太平洋)地域では豪州と台湾がIT的で、欧州ではEU内のセキュリティ企業が市場で優位性を有しているためか、アナログが結構根強い。

一方、日本市場ではITの香りがするとユーザもチャンネル・プレーヤも避けようとする。このような日本市場に身を置く弊社は、成長をなかなか実感できずじまいで、奈落の底からはい上がるのに四苦八苦ししている。

このようにITを始めとする新しい技術や概念を回避したがる行動は、今後の日本の産業発展に影響を及ぼすだろう。これまで産業界を牽引してきた団塊世代が第一線を退き、主力が団塊世代から団塊ジュニア世代に移行してきている。実はこの団塊ジュニア世代が根本原因になることが多い。

長期間の経済後退と低迷で身につけた処世術、すなわち何も決断しない、支援があろうがなかろうが現状維持、そして何かあった場合の責任回避を至上としている。さらに、手に入れた地位の保全に全力を傾ける。これぞ事無かれ主義と問題の先送りの繰り返しによる管理職延

命策の最たるものだ。これでは優れた技術導入が遅々として進まないわけだ。こうなると、数年後に30歳代、40歳代となる世代に次を担う人材として期待するしかない。

全方位カメラの普及状況と今後

魚眼レンズを使用した3M 5M 10Mの映像を見た場合の特徴的なことだが、総じて3Mモデルは性能の低いレンズで、各社間にあまり差がないように感じる。5Mを見ると「おおっ」と一瞬感じ、次に期待して10Mを見ると「あれっ何で」と感じる。このような表現は非常に曖昧で主観的な表現だが一番適格ではないだろうか。10Mは期待してもレンズの線密度の制限から想定している解像度は全く得られない。デジタル解像度は上がってもレンズが追い付かない。テレビ放送用カメラのレンズを考えれば納得していただけるだろう。

その意味ではアリコン社の多眼レンズのパノラマ画像は大変秀逸だ。それでいてローコストだ。一方、イマビジョン社のレンズと補正は優秀だが、PCへの負荷が半端ではなく、これが頭の痛い問題となる。最近ではGPUに対応した製品も現れている。この辺のハンドリングが向上すれば、普及がより加速すると思われる。

技術的に驚嘆する製品

この一年、どこの新製品も似たり寄ったりで、解像度は上がってもそれほど画質は向上せず。CMOSイメージセンサが以前より高感度になったことを除くと、エッジデバイスは消耗戦に突入している。では何も無いかというと、知られていないが存在する。それはNVRだ。

国内ではQNAP社(R.O.D社)やSeEngery社(サクサ社)、さらにはNUUO社(NSS社)が知られている。これ

らの製品は台湾で設計製造されているが、この数年は目立った変化がない。最も考慮すべき点が映像表示で、PCを接続して使うことを前提としている。PCレスモデルもあるが極端に遅延するなど、監視用途として相応しいのかと疑問を感じる製品も市場に出回っているが、これはデコード能力に限界があるからだ。国内メーカーの状況も大差ない。

実は、以前広域ネットワークで面白いテクニカル・コンペを行ったことがある。遅延に関するベンチマークだ。シスコ社のIPテレビ会議で遅延5秒、某家電メーカーの製品は遅延30秒でこれは論外、OMNICASTでは1秒以内という結果だった。つまり、ネットワークで遅延したらその後はどうにもならず、さらにデコード遅延が加わると悲惨な結果となる。しかし、日本では遅延に関する規定がほとんどないようだが、これは私の思い違いだろうか？

話は戻って、最近では全く別のアプローチで、デュアル・モニタに全体帯域が40Mbps/60Mbps/80Mbps/160Mbpsを軽く表示できる製品が台頭してきている。さらにストリーミングはRSTPだ。2Mのカメラを16台接続して、フレームレート30fpsで表示遅延は400msec以内、これがストレージなしで10万円台の製品が世界中を席巻している。さらに、スマートフォン・サポート(何と録画再生も)、Webクライアント、CMS(1024カメラ、16NVR/DVR)が無償提供となっている。



弊社ではこの製品をジェネテック社


のVMSと統合できるようにインテグレーションした。ジェネテック社はオープンなプロトコルを提供している、このプロトコルはエッジもサポートしているので、ジェネテックVMSからこのNVRがエッジ・ストレージ付のエンコーダとして認識される。

日本市場の今後の展望

某家電メーカーは国内リテール市場の過半数を獲得してもまだ満足していない。他社はこの企業と対等に戦っても疲弊するだけだ。それは某家電メーカーが勝負しているポイントが価格の世界だけだからだ。辛辣なことを言うと、家電系メーカーがその絶対的な資金力と営業力で市場を席巻している限り、日本のセキュリティ・レベルは向上しない。さらに困ったことに、これら家電系はミドルからハイエンドにも領域を拡大してきている。こんなことは日本だけの現象だとセキュリティ業界でどれだけの人を知っているのだろうか。IT系からの参入がほとんどない理由として、市場が見えない不毛な企業競争などやっていられないと言うのが正直な感想だ。

だが、この戦略では家電系メーカーは今後ますます疲弊していくことは明白なので、弊社を含む他社はその時まで乗り切れない。そこで、弊社はVMSとNVRとの統合ニーズに活路を見出したと考えている。

ローエンドの市場でも付加価値を求めているお客様は必ずいる。特に若い経営者による中小企業は、自己責任で事業を展開している。このようなお客様に対して丁寧に要望に応えることを最優先として、道を開拓していく考えだ。

今回は次世代入退管理とNFCをテーマとして話を繰り返す。 

指静脈認証機の入退室管理システムへの活用例

入退室管理に指静脈認証機を活用することで、なりすましや偽造ができず確実に本人確認ができるシステムを構築できる。

フィットデザインシステム製指静脈認証機SYL-1000で活用例を紹介する。

●1ドアだけの入退室管理への活用



SYL-1000は事務室、研究室、サーバールームなどドア1つだけの入退室管理を簡単に行うことができる。DCや履歴保存機能も内蔵しており、これ1台で高度なセキュリティを実現できる。

●入退室一括管理システムへの活用

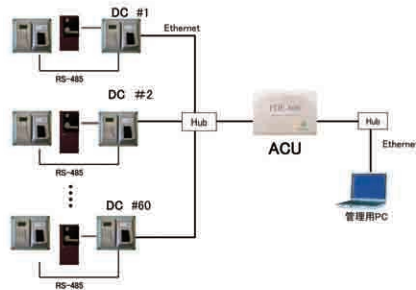
SYL-1000は複数のドアを管理する入退室管理システムに組み込むことができる。配線工事が極めて楽な点に加え、小規模から大規模まで柔軟に増築が可能。

【小規模システム ACS1】

小規模案件の場合、管理PC、ACU(アクセス・コントロール・ユニット)と必要

な数の認証機だけでシステム構築が可能。

制御可能ドア数60ドア、利用者登録数50,000人、管理者登録数10人、接続可



能パソコン数2台、接続可能ACU 1台。

【中規模システム ACS2】

中規模案件の場合、各フロアにACS1システムを導入し、各ACS1システムをSC(システム・コントローラ)で接続。

【大規模システム ACS3】

全国に複数の事業所が点在している場合、各事業所にACS2システムを導入し、各ACS2システムのSCをWANで接続。

中・大規模システムとも、制御ドア数1,800ドア、利用者登録数は50,000人、管理者登録数100人、接続可能パソコン

数100台、接続可能ACU数30台。



●各種機能

SYL-1000は入退室管理で考えられるほとんど全ての機能を備えている。

- ・スケジュール数 …………… 2,000種
- ・履歴保存 …………… 2年、50,000件
- ・火災報知機等外部信号解錠・施錠機能
- ・警備装置連動機能
- ・監視カメラ連動機能
- ・入退室制限機能
- ・管理者操作制限機能
- ・認証機から警報音を発する警報発生機能

警報発生時に外部へ警報信号を出力することも可能(要事前相談)で、これらを組み合わせることで高度のセキュリティを保つことができる。



指静脈認証リーダー SYL-1000

小規模から大規模システムまでフレキシブルに対応できます

安 価

高 速 認 証

すぐれた環境特性

- ・ 入退室管理システムの認証端末として最適です
- ・ 指静脈を組み込んだ入退室の機能をすべて備えています

株式会社 フィットデザインシステム Tel.04(2951)5166 <http://www.fit-design.com>

開催迫る GDSF JAPAN 2013



セキュリティの最新技術と市場動向を知ることができるGDSF JAPAN2013が、いよいよ開催です。その名の通り、世界のセキュリティ企業が、各社の最新技術や製品を披露いたします。今年は、一段とスケールアップしたGDSF JAPAN2013で、最新セキュリティ産業に触れることができます。

開催概要

日時 2013年9月27日10:00 – 18:00

会場 東京秋葉原UDXギャラリーNEXT

内容 最新セキュリティ機器およびシステムに関するセミナーと展示

入場 事前登録の方は無料(当日登録は1,000円)

聴講ご希望の方は、下記URLから登録できます。


http://www.asj-corp.jp/gdsf_japan2013/audience/form.html


詳しくは下記URLにアクセス


http://www.asj-corp.jp/gdsf_japan2013/index.html


出展企業の紹介

DIAMOND SPONSOR	
Flir Systems Japan	
	
フリアーシステムズジャパン	
ブランド名	FLIR Systems
住所	141-0021 東京都品川区上大崎2-13-17 目黒東急ビル5階
電話	03-6721-6648
FAX.	03-6721-7946
URL	www.flir.com

DIAMOND SPONSOR	
Bosch Security Systems	
	
Bosch Security Systems	
ブランド名	Bosch
住所	100-0014 東京都千代田区永田町2-13-1 ポッシュビル赤坂9階
電話	03-5485-4427
FAX.	03-3507-4422
URL	http://www.boschsecurity.jp/


PLUTINUM SPONSOR	
Axis Communications	
	
アクシスコミュニケーションズ	
ブランド名	
住所	169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー19階
電話	03-5937-2700
FAX.	03-5937-2701
URL	www.axis.com/ja

PLUTINUM SPONSOR	
MOBOTIX JAPAN	
	
MOBOTIX JAPAN	
ブランド名	MOBOTIX
住所	231-0011 横浜市中区太田町6-85 RK Cube4F
電話	045-227-6174
FAX.	045-227-6286
URL	www.mobotix-japan.net/

PLUTINUM SPONSOR	
Nippon Hewlett-Packard	
	
日本ヒューレット・パッカード	
ブランド名	HP Workstation Zシリーズ
住所	136-8711 東京都江東区大島2-2-1
電話	03-5749-8343
FAX.	-
URL	www.hp.com/jp/ws_surveillance


PLUTINUM SPONSOR	
SONY Business Solution	
ソニービジネスソリューション	
ソニービジネスソリューション	
ブランド名	ソニー
住所	108-0075 東京都港区港南1-7-1
電話	0120-788-333
FAX.	0120-333-389
URL	sony.jp/snc/


PLUTINUM SPONSOR	
Sun System Supply	
	
サンシステムサプライ	
ブランド名	exacqVision
住所	167-0021 東京都杉並区井草3-32-2
電話	03-3397-5241
FAX.	03-3399-2245
URL	www.sunss.co.jp

PLUTINUM SPONSOR	
Techmatrix / Kaga Solnet	
	
テクマトリクス	
ブランド名	Isilon スケールアウトNAS
住所	108-8588 東京都港区高輪4-10-8 京急第7ビル
電話	03-5792-8615
FAX.	03-5792-8715
URL	www.techmatrix.co.jp

PLUTINUM SPONSOR	
Techmatrix / Kaga Solnet	
	
加賀ソルネット	
ブランド名	Genetec Security Center
住所	101-0021 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル10F
電話	03-4455-3100
FAX.	03-3254-7179
URL	www.solnet.ne.jp


PLUTINUM SPONSOR	
Tenpo Planning	
	
店舗プランニング	
ブランド名	CNB、WEBGATE
住所	151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階
電話	03-3378-4901
FAX.	03-3378-4906
URL	www.tenpo.co.jp


PLUTINUM SPONSOR	
Video Technica	
	
ビデオテクニカ	
ブランド名	ISD, Veracity
住所	105-0004 東京都港区新橋5-20-4 ニッセイエプロビル4階
電話	03-5472-0280
FAX.	03-5472-0277
URL	www.videotechnica.co.jp

GOLD SPONSOR	
Canon Mmarketing Japan	
	
キヤノンマーケティングジャパン株式会社	
キヤノンマーケティングジャパン	
ブランド名	Canon
住所	108-8011 東京都港区港南2-16-6
電話	050-555-90074
FAX.	
URL	canon.jp/webview


GOLD SPONSOR	
CASIO Techno	
	
カシオテクノ	
ブランド名	GVD
住所	101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-23 カシオ秋葉原ビル
電話	03-6365-0428
FAX.	03-5821-7647
URL	http://www.casiotechno.co.jp/

GOLD SPONSOR	
DYNACOLOR JAPAN	
	
DYNACOLOR JAPAN	
ブランド名	DYNACOLOR
住所	〒102-0093 東京都千代田区平河町1-1-1 平河町コート202
電話	03-3265-0037
FAX.	03-3265-0038
URL	www.dynacolor.co.jp

GOLD SPONSOR	
GENETEC / JAVATEL	
	
ジャバテル	
ブランド名	GENETEC
住所	530-0041 大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3階
電話	06-6354-0100
FAX.	06-6136-1155
URL	www.javatel.co.jp


GOLD SPONSOR	
Milestone Systems	
	
マイルストーンシステムズ	
ブランド名	milestone
住所	150-0003 東京都渋谷区猿楽町29-6 デンマーク大使館内
電話	03-3780-8749
FAX.	03-3476-4234
URL	www.milestone.com

GOLD SPONSOR	
NetCam Systems	
	
ネットカムシステムズ	
ブランド名	KxViewPro
住所	101-0021 東京都千代田区外神田3-10-3 プライム秋葉原ビル7階
電話	03-5207-8591
FAX.	03-5207-8592
URL	www.netcam.co.jp/

GOLD SPONSOR	
R.O.D	
	
R.O.D	
ブランド名	VioStor
住所	108-0014 東京都港区芝5-32-8 青木ビル8階
電話	03-5419-3354
FAX.	03-5419-3359
URL	www.rodweb.co.jp


GOLD SPONSOR	
VIVOTEK TECHNOLOGY	
	
VIVOTEK INC.	
ブランド名	VIVOTEK
住所	6F, No.192, Lien-Cheng Rd., Chung-Ho, New Taipei City, Taiwan
電話	886-2-8245-5282
FAX.	886-2-8245-5532
URL	www.vivotek.com

GOLD SPONSOR	
YONEI / AVIGILON	
	
ヨネイ/AVIGILON	
ブランド名	AVIGILON
住所	104-0061 東京都中央区銀座2-8-20 ヨネイビル
電話	03-3564-8754
FAX.	03-3562-4660
URL	http://www.yonei.co.jp/

SILVER SPONSOR	
NEXCOM Japan	
	
ネクスコムジャパン	
ブランド名	NEXCOM NViSシリーズ
住所	108-0014 東京都港区芝4-11-5 田町ハラビル9階
電話	03-5419-7830
FAX.	03-5419-7832
URL	www.nexcom-jp.com

SILVER SPONSOR	
Ricoh	
	
リコー	
ブランド名	RICOH
住所	222-8530 横浜市港北区新横浜3-2-3
電話	045-477-1552
FAX.	045-477-1866
URL	www.ricoh.co.jp

展示会情報	
SECURITY SHOW 2014	
第22回 セキュリティ・安全管理総合展 SECURITY SHOW 2014	
会期	2014年3月4日～7日
会場	東京ビックサイト
主催	日本経済新聞社
問い合わせ先	ASJ社 komori@asj-corp.jp
URL	http://www.shopbiz.jp/ss/

展示会情報	
SECUTECH 2014	
	
会期	2014年3月19日～21日
会場	台北世界貿易センター南港
主催	MFNE
問い合わせ先	ASJ社 komori@asj-corp.jp
URL	http://www.secutech.com/14/en/

セミナーセッション 時間割表

Aトラック		
10:00	A-1	店舗プランニング
10:40		休憩
10:50	A-2	フリーアシストムズ
11:30		休憩、商談会
11:40	A-3	MOBOTIX JAPAN
12:20		昼食休憩、商談会
13:00	A-4	BOSCH SECURITY SYSTEMS
13:40		休憩、商談会
13:50	A-5	DYNACOLORJAPAN
14:10		休憩、商談会
14:20	A-6	アクシスコミュニケーションズ
15:00		休憩、商談会
15:30	A-7	VIVOTEK
15:50		休憩、商談会
16:00	A-8	キャノンマーケティングジャパン
16:20		休憩、商談会
16:30	A-9	ソニービジネスソリューション
17:10		商談会
18:00		終了

Bトラック		
10:00	B-1	日本ヒューレット・パッカード
10:40		休憩
10:50	B-2	テクマトリクス/加賀ソルネット
11:30		休憩、商談会
11:40	B-3	ビデオテクニカ
12:20		昼食休憩、商談会
13:00	B-4	サンシステムサプライ
13:40		休憩、商談会
13:50	B-5	GENETEC/ジャバテル
14:10		休憩、商談会
14:20	B-6	R.O.D
14:40		休憩、商談会
14:50	B-7	カシオテクノ
15:10		休憩、商談会
15:30	B-8	ネットカムシステムズ
15:50		休憩、商談会
16:00	B-9	ヨネイ/AVIGILON
16:20		休憩、商談会
16:30	B-10	マイルストーンシステムズ
16:50		商談会
18:00		終了



2014年に最初に行くべき 海外展示会

セキュリティ関連機器情報に接することができます。

2014年3月19日-21日

台湾 台北南港展示会場

URL:www.secutech.com



- セキュリティ機器メーカー560社が一堂に参加
- 世界最先端のIP/HD-SDI機器が展示
- 基幹部品からソリューションまでを網羅



ビデオテクニカ社、ベラシティ社とISD社製品販売とソニー製ネットワークカメラの販売強化を発表

ビデオテクニカ社は、7月26日に東京青山にあるスタジアムプレイス青山において、「最新のIPカメラソリューションセミナー」を開催した。同社はアクセス・コントロール・ソリューションの第一人者として高い評価を獲得しているが、それとともに様々な映像監視ソリューションでも数多くの実績も有している。

【開催趣旨】

ビデオテクニカ社が今回セミナーを開催した趣旨は、近年増加しているユーザからの要望、すなわち「明るくても暗くても高画質で見たい」「ネットワークの負荷を軽減したい」「レコーダの設置スペースがないので何とかしてほしい」「記録映像をもっと長期間安全に保存したい」などに対して、これまでにないソリューションを提案することだった。

そして、このソリューションを協業して市場に紹介し普及させていくためのパートナー企業を募り、詳細に製品とソリューションを説明することだった。

ビデオテクニカ社の提案するソリューションの中核を担う製品として、COLDSTOREのストレージ、ISD社およびソニーのHDネットワークカメラ、そしてエグザックビジョン社エグザックビジョンedgeを紹介した。

【Coldstone】

ベラシティ社は、監視カメラ専用設計の長期間保存用ハードディスクアレイColdstoreを提供している。Coldstoreは3TBのHDDを15台収納し、記録を二重化して42TBの容量で保管できる。さらにマイルストーン社アーカスの搭載や

ISDカメラとの連携で、PCやNVRなしに長期間記録を実現し、RAID5や6からColdstoreへの移行を推奨している。



【ISD社製カメラ】

ISD社は次世代の映像監視プラットフォームを開発し、その1つとしてエッジ・ソリューションを提供する新進企業で、エッジ・ストレージを搭載したネットワークカメラを提供している。同カメラは上述のColdstoreに接続することができる。また、エッジ・ストレージにエグザックビジョン社製VMSのエグザックビジョンedgeを搭載することで、シンプルな監視ソリューションを実現することができる。



ビデオテクニカ社では、ISD社カメラとエグザックビジョンedgeによる最小

システムでユーザを開拓し、その後Coldstoreを追加導入するソリューションの提案を勧める考えだ。



【ソニー製ネットワークカメラの販売】

一方、これまでも取扱実績が多かったソニー製ネットワークカメラについて、協力パートナー各社への円滑な供給を図るため、各機種を一定量在庫する方針を決めた。近年積極的な製品開発を進めるソニーにとり、今回のビデオテクニカ社の行動はソニーの販売促進活動に大きな支援となると思われる。

このように、ビデオテクニカ社はこれまでのアクセス・コントロール・ビジネスと映像監視システムにIPソリューションを加え、幅広く提案できる体制を整えて積極的に推進する考えだ。

ビデオテクニカ社は、前述したユーザの要望である高画質、軽いネットワーク負荷、コンパクトなストレージ、映像の安全な長期間保存などを実現し、次世代映像監視IPネットワーク市場の先駆者としての地位を構築し始めた。



ヨネイ、アビジロン社製品内覧会を開催

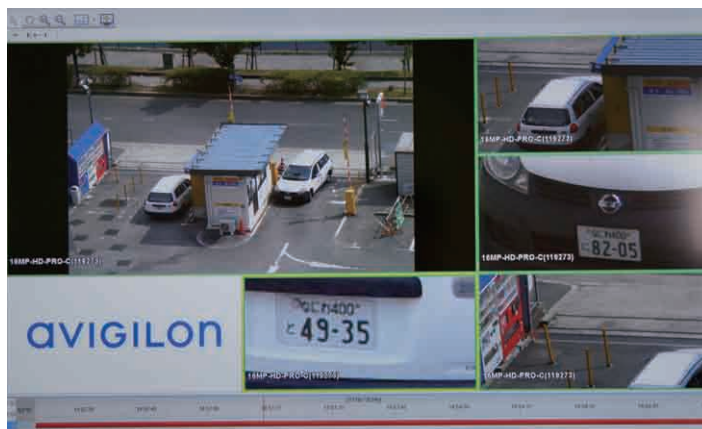
カナダAvigilon(アビジロン)社の日本代理店であるヨネイは、7月17日から19日までの3日間、毎日3回で合計9回にわたり、内覧会を開催した。

今回の内覧会は、製品を自由に見て説明員と質疑応答するといった一般的な形式ではなく、ヨネイ担当者が来訪企業に対して、製品とVMSを含めたソリューションをプレゼンテーション形式で紹介し、その後質疑応答するという密度の濃い形式だった。その結果、ヨネイ側では可能な範囲で1社ごとに対応することができたと話している。

AVIGILON社は2004年設立でカナダのバンクーバーに本社を構えている。ネットワークカメラおよびソフトウェアの開発・販売を行っている。主力製品は高精細監視カメラシステムで、自社開発のハードウェアとソフトウェアによるソリューションである。

【高精細監視カメラシステム】

1台の高精細カメラで取り込んだ広域画像を専用監視ソフトウェアで任意の場所を拡大し、最高36分割のクリアな画像で監視を行うことができる。カメラは29M/16M/11M/8Mピクセルの4機種があり、これらのカメラによる高精細な画像は拡大しても画質が粗くならないため、より遠くを監視することができる。例えば、29Mピクセルのカメラを使うとVGAカメラなら95台で監視する範囲を1台でカバーすることができる。監視カメラは他に、4台の小型カメラを組み合わせると360度のエリアをカバーできるドームカメラ、1~5Mピクセルのカメラをラインアップしており、レンズやNVR等と組み合わせると、規模に合わせた多彩な監



視システムを構築することができる。

また、高精細カメラを組み合わせると監視システムはカメラ設置台数を削減できるため、全体の導入費や維持費が従来システムよりも抑えることができる。本監視ソフトウェアは他社製のアナログ/IPカメラとも接続でき、既存の監視カメラシステムから本システムの段階的移行もスムーズに行うことができる。

【メガピクセルカメラのラインナップ】

- HDカメラ：1/2/3/5Mピクセル
 デイ/ナイト機能
- HDドームカメラ：1/2/3/5Mピクセル
 デイ/ナイト機能 IP66対応
- HD PTZカメラ：1/2/Mピクセル
 20倍光学ズーム デイ/ナイト機能
 IP66対応
- HD マイクロドームカメラ：1/2M
 ピクセル IP66対応
- HD Bulletカメラ：夜間監視用全天候型
 赤外線カメラ 1/2/3/5Mピクセル
 IP66対応
- JPEG2000 HDパノラマ・ドーム
 カメラ：180/360度(2MP×4レンズ)
- JPEG2000 HDプロフェッショナル
 カメラ：8/11/16/29Mピクセル

【Avigilon Control Center】

カメラ1台の複数箇所の任意範囲を拡大してレイアウト作成ができるソフトウェア。

イベント/ブックマーク/ピクセル/サムネイルなどの検索機能、カメラ設定、帯域設定機能

ストレージ管理機能を有する。

【NVR】

- NVRワークステーション(サーバ兼クライアント)
- NVRサーバ
 有償でAvigilon Control Centerを
 プレインストール
 ディスク容量は3/5/10/15/21TBから
 選択
 ストレージ(10TB, 20TB, 30TB)追加
 で容量拡張が可能
 ホットスワップ、RAID対応
- NVRワークステーション(サーバ兼クライアント)

【アクセサリ類】

- エンクロージャ
- アナログ・ビデオエンコーダ
- ジョイスティック



9月

IPCC2013in東京

会期：2013年9月19日～20日

会場：東京都立産業貿易センター台東館 7階

主催：R.O.D

URL：www.rodweb.co.jp/event/

ISAF 2013

会期：2013年9月19日～22日

会場：イスタンブール展示会場
トルコ イスタンブール

E-mail：marmara@marmarafuar.com.tr

URL：www.isaffuari.com

ASIS 2013

会期：2013年9月24日～27日

会場：マコーミック・プレイス
米国 イリノイ州 シカゴ

E-mail：asis@asisonline.org

URL：securityexpo.asisonline.org

第15回 自動認識総合展

会期：2013年9月25日～27日

会場：東京ビッグサイト 東4ホール

主催：日本自動認識システム協会

URL：www.autoid-expo.com/tokyo/

センサエキスポジャパン2013

会期：2013年9月25日～27日

会場：東京ビッグサイト 東4・5ホール

主催：フジサンケイ ビジネスアイ

URL：www.sensorexpojapan.com

GDSF JAPAN 2013

会期：2013年9月27日

会場：秋葉原UDXギャラリNEXT

主催：a&s JAPAN (ASJ社)

URL：www.asj-corp.jp/gdsf2013.html

10月

CEATEC JAPAN 2013

会期：2013年10月1日～5日

会場：幕張メッセ

主催：CEATEC JAPAN実施協議会

URL：www.ceatec.com/2013/ja/application/

危機管理産業展2013

会期：2013年10月2日～4日

会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

主催：東京ビッグサイト

URL：www.kikikanri.biz

テロ対策特殊装備展(SEECAT)' 13

会期：2013年10月2日～4日

会場：東京ビッグサイト 西4ホール

主催：東京ビッグサイト

URL：www.seecat.biz

ITpro EXPO 2013

会期：2013年10月9日～11日

会場：東京ビッグサイト 東4-6ホール

主催：日経BP社

URL：expo.nikkeibp.co.jp/itpexpo/2013/

Security 2013

会期：2013年10月9日～11日

会場：東京ビッグサイト 東4-6ホール

主催：日経BP社

URL：expo.nikkeibp.co.jp/security/2013/
exhibition/**第3回 情報セキュリティ EXPO【秋】**

会期：2013年10月23日～25日

会場：幕張メッセ

主催：リード エグジビション ジャパン

URL：www.ist-expo.jp/ja/Home_Aki/

第2回 データセンター構築運用展

会期：2013年10月23日～25日

会場：幕張メッセ

主催：リード エグジビション ジャパン

URL：www.dc-expo.jp/Home_Aki/

第4回 クラウドコンピューティングEXPO【秋】

会期：2013年10月23日～25日

会場：幕張メッセ

主催：リード エグジビション ジャパン

URL：www.cloud-japan.jp/

CPSE 2013

会期：2013年10月29日～11月1日

会場：深圳国際展示会議場

中国 深圳

URL：www.cpse.com.cn

11月

システムコントロールフェア2013

会期：2013年11月6日～8日

会場：東京ビッグサイト

西1・2ホール アトリウム

主催：日本電機工業会

日本電気制御機器工業会

URL：scf.jp/ja/

ハイウェイテクノフェア2013

会期：11月7日～8日

会場：東京ビッグサイト 西3・4ホール

主催：高速道路調査会

URL：www.express-highway.or.jp/jigyو/info/htf/

ICE11

会期：2013年11月8日10：00-18：00

会場：東京国際フォーラム4階ガラス棟G409

主催：ケーティーワークショップ

URL：http://www.kt-workshop.co.jp/
seminar/011009.htm

アクセシビリティ、 「AXIS M3024-LVE」と「AXIS M3025-VE」を発売

HDTV720p/1080p、デイ/ナイト機能、赤外線照射、耐衝撃、屋外対応ながら、これまでにない価格の固定ドームネットワークカメラ

「AXIS M3024-LVE」と「AXIS M3025-VE」は、既存の「AXIS M30 シリーズ」の追加ラインアップとして、市場からの強い要望に応えるべく開発された新製品。

「AXIS M3024-LVE」は高画質HDTV720p(1メガピクセル)、水平画角80度、「AXIS M3025-VE」は高画質HDTV1080p(2メガピクセル)、水平画角93度と、広い画角での撮影が可能。

両製品ともに赤外線カットフィルタを使用したデイ/ナイト機能を搭載。通常はカラーでの撮影を行い、厳しい光環境下では鮮明なモノクロ映像を提供する。「AXIS M3024-LVE」では、全く光の射さない完全な暗闇においても、内蔵の赤外線LEDにより撮影が可能。さらに、壁面や廊下などの監視に適した、縦型に撮影するCorridor Format(コリドール・フォーマット)にも対応している。商業施設、ホテル、オフィス、学校などの出入口での設置に最適。

本製品はコンパクトな形状でありながら、IP66等級およびNEMA 4X規格、IK10等級にそれぞれ準拠しており、別途ハウジングに収納することなく、耐衝撃性能や塵や雨、雪や腐食からの保護を実現することができる。また、カメラの向き調整、壁面や天井への取り付けも簡単にできるよう設計されている。

内蔵レンズのピントは製品出荷時に調整が済んでおり、また2メートルの

ネットワーク・ケーブルをあらかじめ備えているため、設置にかかる時間を大幅に削減することができる。PoE(Power over Ethernet IEEE 802.3af)にも対応し、多機能で高性能さらにコンパクトな形状ながら、これまでにない低価格を実現している。屋内はもちろん、屋外対応製品としてあらゆる環境に適した、幅広い用途に使うことができる。



AXIS M3024-LVE



AXIS M3025-VE

AXIS M3024-LVE、AXIS M3025-VE の主な特長

- HDTV720p (AXIS M3024-LVE)およびHDTV1080p(AXIS M3025-VE)の高解像度
- WDR - ダイナミックコントラストによる、逆光などの厳しい光環境への対応
- 赤外線フィルタ自動制御によるデイ/ナイト機能により、光環境の変化に対応
- 赤外線LED照明を内蔵し、全く光の射さない環境においても鮮明なモノクロ映像を提供(AXIS M3024-LVE)
- Corridor Format(コリドール・フォーマット)による縦型撮影に対応。通路のような場所での監視利用に最適
- IP66およびNEMA 4Xの防水防塵性能

- IK10等級の耐衝撃性能
- 外部入出力機器との連動が可能なI/Oポートを搭載
- microSDXCカードスロットを搭載
- H.264およびMotionJPEGによる映像圧縮
- Power over Ethernet(IEEE802.3af)に対応し、ネットワーク・ケーブル1本で給電・映像伝送
- AXIS Camera Application Platform 対応のサードパーティ製アプリケーションを利用可能
- ONVIF対応

製品価格および出荷開始時期

AXIS M3024-LVE
固定ドームネットワークカメラ
77,000円(税別)
2013年8月下旬

AXIS M3025-VE
固定ドームネットワークカメラ
77,000円(税別)
2013年8月下旬

※コリドール・フォーマット(9:16の表示)



通常表示(16:9)



コリドール・フォーマット
(9:16の表示)



サンシステムサプライ社、エクザックビジョンSシリーズを発表 IPカメラ上で動作するVMSサーバー-exacqVision Edge用ストレージ

サンシステムサプライは、カメラのSDカードにVMSサーバを搭載した録画サーバ、エクザックビジョンエッジ用アーカイブサーバS-シリーズを2013年9月より販売を開始。

■エクザックビジョンエッジの概要

エクザックビジョンエッジはカメラが持つローカルストレージ(SDカード)上にサーバアプリケーションを実装し残り領域をデータ保存領域として利用するIPカメラ単独で実現する録画サーバ。SDカードにデータが保存される為NVRやVMSサーバ、さらには中央サーバも不要の為、小規模なシステムでも安価にIPシステムの構築が可能。またカメラから直接SDカードに書き込みを行う為、ネットワーク障害やNVRの信頼性に依存せず、確実にデータ保存が可能である。さらにSDカード付IPカメラにはファンやHDなど可動部が無い為、温度、埃、振動/衝撃への長期信頼性が高い。

■エクザックビジョンエッジの特徴

- ・クライアントソフト無償
- ・VMS[exacqVision]の全機能を搭載
- ・SDカードとNASに録画可能
- ・無線NWデータ保管で信頼性向上
- ・広域に分散型する多拠点展開のソリューションに最適



【exacqVision S-シリーズ】

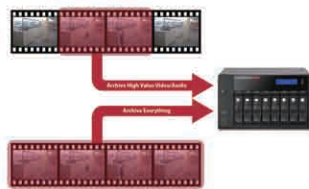
エクザックビジョンS-シリーズはエッジシステムにおける全データや必要なデータのみをアーカイブすることが可能なストレージである。

■機能概要

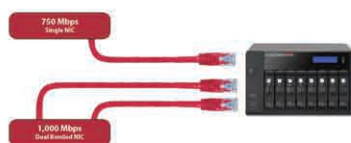
- ・1エッジシステムにつき最大4TBのストレージとして利用可能。
- ・1台のS-シリーズ最大32TB実装
- ・ストレージの拡張/追加が容易



- ・必要な映像/音声データのみ、もしくは全データのバックアップが可能
- ・複数のエッジサーバから同一のS-シリーズへの同時アーカイブが可能
- ・各エッジサーバに異なる設定のバックアップ条件、アーカイブのスケジュール設定が可能



- ・最大64台のエッジシステム接続可
- ・最大1000Mbpsでの帯域確保可



■仕様

- ・最大アーカイビングデータレート
1 x NIC 750Mbps
2 x NIC 1000Mbps
- ・ストレージ容量：32TB
- ・筐体サイズ：29.8x23.5x18.5(cm)

■対応カメラ(2013年9月現在)

Axis社	62機種
IQinvision社	9機種
ISD社	2機種
Vivotek社	7機種

■モバイル端末との連携

Exacq社の提供する無償クライアントアプリ「exacqMobile2」を使用することでiPhone/iPad/Android端末からモニタリング可能

■対象となる主なソリューション

- ・ATM
- ・小売/飲食店チェーン
- ・コインランドリー
- ・駐車場
- ・工事現場などの期間限定使用
- ・アナログシステムとの共存
- ・Web(定点)カメラ
- ・街頭監視
- ・車内監視(長距離バスetc)
- ・その他NVR等設置環境の悪い場所

スタードット・テクノロジーズ社 独自技術「MCLDC」を採用したデジタルTV監視カメラを発表

スタードットテクノロジーズ社は、同軸ケーブルを活用した最新技術を搭載したMCLDCカメラを3機種リリースした。

■MCLDCとは？

IPでもHD-SDIでもない多チャンネル高解像映像を同軸ケーブルにのせ長距離伝送する技術「Multi-Channel Long Distance Coaxial」を開発した。MCLDCはアナログカメラに利用される同軸ケーブル(RG58/RG6)を活用しFull HDもしくは5MP解像度の映像を1ラインに最大16台までのカメラストリームまとめて伝送することができる最新技術である。

各カメラからの映像を専用のレシーバで受信し、NVRやVMSサーバへの伝送、ディスプレイに直接表示が可能となっている。



■Simple is Best!

- ・高解像度フルHD 30fps
- ・伝送遅延なし
- ・1台配線-最長500m
- 16台配線(1ライン)-最長300m
- ・Full HD(2MP) / 5MP対応
- ・IPの知識一切不要
- ・NWセキュリティの心配不要
- ・芋づる/リング式などの多様な配線方式に対応

■HS-SDIとの違い

【HD-SDI】

- ・1カメラ最長100m配線
- ・各カメラに1本の同軸ケーブル
- ・データ圧縮はレコーダ/エンコーダ
- ・HD-SDIサーバが必要

【MCLDC】

- ・1カメラ最長500m配線
- ・芋づる/リング式最長300m配線最大16台の伝送を1ラインで実現
- ・データ圧縮はカメラで実施
- ・有力NVR/VMSに対応

■柔軟な対応を可能にするレシーバ

各カメラからのストリームを受信し、サーバにデータを転送するレシーバはUSBタイプとLANタイプの2種のモデルから選択可能。USBタイプは特定のNVRにUSB接続することでカメラのデータ転送を実現する。従ってユーザサイドにてIPの設定など一切考慮せずシステム構成が可能。また、接続するNVRが対応しているIPカメラを通常通り追加することも可能である。LANタイプはOnvif対応しているNVR、VMSに接続が可能。PoC(Power Over Coaxial)に対応しているためカメラ側への電源供給が同軸ケーブルのみで可能。(ラインドライブ)



既存アナログ(同軸)配線が使える場合は線材費、配線工数が最少。



■MCLDC屋内用ドームカメラ

SDHM200RN

- ・1920 x 1080 @ 30fps
- ・3.5mm-10mmレンズ
- ・デイ/ナイトモデル



■MCLDC屋内用BOXカメラ

SDHM200BN

- ・1920 x 1080 @ 30fps
- ・4mm-10mmレンズ
- ・デイ/ナイトモデル



■MCLDC屋内用BOXカメラ

SDHM200WN

- ・1920 x 1080 @ 30fps
- ・3.5mm-10mmレンズ
- ・デイ/ナイトモデル
- ・赤外線投光器付き



■MCLDCカメラ用レシーバ

SDHMRSRV04

- ・4台のカメラ接続が可能
- ・USBまたはLAN接続タイプ有
- ・Onvif対応
- ・PoC(Power Over Coaxial)対応



ソニー、最低被写体照度を10倍向上させたHD対応ネットワークカメラEシリーズを発表

ソニーは、新開発Exmor®CMOSセンサの採用とノイズ除去機能の改善により、最低被写体照度を従来機種よりも10倍向上させ、暗所でも鮮明なカラー画像を再現するEシリーズとして、ボックス型フルHDモデルSNC-EB630、ボックス型フルHDモデルSNC-EB630B、ボックス型HDモデルSNC-EB600、ボックス型HDモデルSNC-EB600B、ドーム型フルHDモデルSNC-EM630、ドーム型HDモデルSNC-EM600の6機種を発表した。

これら6機種全てにワイドダイナミックレンジ機能「View-DR」、振動映像を補正する「イメージスタビライザー機能」などを搭載し、上位機種と同等の高画質



性能を実現しながら、導入しやすい普及化価格帯での提供を実現した。

【主な特長】

● 最低被写体照度を大幅に向上

新開発のExmor CMOSイメージセンサの採用とノイズ除去機能を改善した信号処理エンジンIPERA ENGINEを搭載したことで、最低被写体照度を従来機種と比較して10倍に向上させている。



● View-DRを搭載

1フレーム内にシャッタースピードの異なる4枚あるいは2枚の画像を合成し、同時に明暗部コントラスト補正機能を組み合わせることで、明部と暗部の両方の視認性を向上させる技術。逆光状態で効果を発揮する。

● イメージスタビライザー機能を搭載

ポール設置時などに発生する微細な振動による振動する画像を補正する技術。

● ピクチャーモードに対応

動体撮影時にブレを少なくする「動き優先」、動きが少ない場合にノイズ低減を優先する「低ノイズ」などで、複数の画像設定項目を自動的に設定する。

● 設置時の負担を軽減するアシスト機能

カメラ/ウェブ側での操作でフォーカスを自動調整する「イージーフォーカス機能」と、カメラ/ウェブ側での操作でズーム倍率を変更するイージーズーム機能を搭載。

● H.264メインプロファイル、ハイプロファイルに対応

従来のベースラインプロファイルに加えることで、より高い圧縮率で記憶容量や通信帯域を低減する。

● インテリジェントなアラーム機能

仮想ラインによる通過や置き去りそして持ち去りを検知するディープアドバンスド機能、カメラ妨害検知機能、顔検出機能を搭載

● スマートフォンによる遠隔監視

対応のスマートフォンのブラウザからカメラにアクセスし、映像を確認できる。



【主要仕様】

製品型番	SNC-EB630	SNC-EB630B	SNC-EB600	SNC-EB600B	SNC-EM630	SNC-EM600
CMOSセンサ	1/2.9型 Exmor		1/3型 Exmor		1/2.9型 Exmor	1/3型 Exmor
有効画素数	約214万画素		約137万画素		約214万画素	約137万画素
レンズタイプ	2.9倍バリフォーカル		2.7倍バリフォーカル		3.0倍バリフォーカル	
焦点距離	f=2.8~8.0mm		f=3.0~8.0mm		f=3.0~9.0mm	
水平画角	114.2度~40.0度		92.5度~35.7度		105.2度~35.4度	93.2度~31.6度
デイ/ナイト機能	IRカットフィルタ	簡易式	IRカットフィルタ	簡易式	IRカットフィルタ	
DR機能	View-DR(90 dB)		View-DR(130 dB)	View-DR LT(90 dB)	View-DR(90 dB)	View-DR(130 dB)
最低被写体照度	0.1lux(カラー)、0.07lux(白黒)		0.05lux(カラー)、0.04lux(白黒)		0.1lux(カラー) 0.07lux(白黒)	0.05lux(カラー) 0.04lux(白黒)
動体検知機能	有		無		有	無
画像圧縮方式	JPEG/H.264：最大3種類の設定による映像ストリームの同時配信が可能					
画像サイズ	最大：1920x1080		最大：1280x1024		最大：1920x1080	最大：1280x1024
	最小：320x184		最小：320x240		最小：320x184	最小：320x240
最大フレーム	JPEG：30fps(1920x1080)		JPEG：30fps(1280x720)		JPEG：30fps(1920x1080)	JPEG：30fps(1280x720)
	H.264：30fps(1920x1080)		H.264：30fps(1280x720)		H.264：30fps(1920x1080)	H.264：30fps(1280x720)
希望小売価格(税抜)	126,000円	110,000円	75,000円	62,000円	126,000円	75,000円

ソニー、小型・軽量の名刺サイズ HD対応ネットワークカメラ2機種を発表

ソニーは、名刺サイズで、小型・軽量のHDネットワークカメラ「SNC-CX600W」と「SNC-CX600」を発表した。同製品は1280x720ピクセルのHD映像を最大30fpsで出力し、水平画角120度をサポートすることで、設置スペースの限られた場所でも高解像度で広範囲に撮影することができる。

また、人感センサと白色LED、そしてマイクとスピーカなど、映像監視に役立つ機能を搭載している。



SNC-600W

SNC-600

【主な特長】

● 小型軽量、広角高画質

61mm x 95mm x 41mmと寸法が名刺サイズで質量も110gと小型軽量のHDネットワークカメラ。デザインも監視カメラ特有の威圧感がなく、小売店舗やオフィスビルなどに設置しても違和感がない。また、120度という広角な水平画角をサポートしているため、1台のカメラでも広範囲を撮影することができる。

● ワイヤレスLAN、PoEに対応

「SNC-CX600W」は、ワイヤレスLAN(IEEE802.11b/n準拠)に対応し、ネットワークケーブル敷設が必要ない。「SNC-CX600」は、PoE(IEEE802.3af準拠)に対応し、電源工事が困難な場所への設置に適している。

● 様々な機能を搭載

人感センサと白色LEDの搭載：低照度環境で人感センサに連動させ白色LEDを発行させることで、鮮明なカラー画像をモニタリングや録画をすることができる。

内蔵マイクの搭載：映像だけでなく、現場の音声を聴くことや記録することができる。

スピーカの搭載：あらかじめ録音しておいた音声ファイルを、人感センサや動体検知機能と連動して再生することで、声や警報音で警告することができる。

● 簡単な設置と設定

同梱のカメラスタンドを使用することで、別途備品を用意することなく設置することができる。また、単焦点レンズを採用しているため、フォーカス調整が必要なく、簡単に設置することができる。設定については、ワイヤレス対応モデル「SNC-CX600W」にWPSボタンを搭載しているため、ボタンを一度押すだけで簡単にネットワーク設定することができる。

● ピクチャーモードを搭載

動体撮影時にブレを少なくする「動き優先」、動きが少ない場合にノイズ低減を優先する「低ノイズ」などで、複数の画像設定項目を自動的に設定する。

● 簡易記録、再生機能

MicroSDカードスロットを搭載し、カメラ内に映像を記録する「エッジストレージ機能」に対応している。人感センサや動体検知機能と連動して、作動時の映像をMicroSDカードに記録したり、ネットワークが無効でNVRへの記録ができない場合に、一時的に記録することができる。

● イメージスタビライザー機を搭載

ポール設置時などに発生する微細な振動による振動する画像を補正する技術。



【主な仕様】

型名	SNC-CX600W	SNC-CX600
CMOSセンサ	1/4型 Exmor	
有効画素数	約143万画素	
レンズタイプ	固定焦点レンズ	
焦点距離	f=1.83mm	
水平画角	120度	
DR機能	View-DR LT-C(60 dB)	
最低被写体照度	1lux(カラー)	0.00lux(白色LED点灯時)
動体検知機能	有	
画像圧縮方式	JPEG/H.264：最大3種類の設定による映像ストリームの同時配信が可能	
画像サイズ	最大：1280x1024 最小：320x180	
最大フレーム	JPEG：30fps(1280x720) H.264：30fps(1280x720)	
音声圧縮	G.711、G.726、AAC(16kHz、48kHz)	
ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g/n準拠	無
希望小売価格(税抜)	38,000円	

a&S JAPAN 電子版

定期無料購読のご案内

簡単な手続きで毎号お読みいただけます



① <http://www.asj-corp.jp/> にアクセス

② このバナーをクリック



③ 登録画面の全項目にご記入

④ 「送信する」をクリック



⑤ 登録完了メールをお送りします

最新号発行のたびに
アクセスするURLをお送りします

ASJ社

最も簡単に セキュリティの世界を知るには・・・

各国版の雑誌をご用意しました。

- 詳しく中立的な市場情報を提供します。
- 最新技術を解説および紹介します。
- 案件およびソリューション設計を指南します。



さらに詳しい情報は、下記にメールをお送りいただくか、下記 URL にアクセスしてください。
E-Mail : intl@newerafrankfurt.com URL : www.mfnewera.com

■ 全方位IPカメラ AV12186DN

- ・オールインワン型H.264対応
- ・WDR画像
- ・着脱可能なデイ/ナイトIRカット・フィルタ
- ・H.264とMJPEGのデュアル・コーデック
- ・プライバシー・マスク、動体検知
- ・自在に不要な画像端部を削除するクロップピン
- ・法的に有効なズーム
- ・帯域幅制限までのビットレート制御



Arecont Vision/米国

Email: avsales@arecontvision.com

■ 非接触リモコン CS120-WT/BL CS130-WT/BL CS530-WT/BL

- ・非常通報装置AMTシリーズに接続可能なリモコン
- ・CS120: 専用カードNCC2/NCT2の操作のみの汎用モデル。表示部・操作部なし。
- ・CS130: 専用カードNCC2/NCT2とテンキー操作による暗証番号併用の高機能モデル。
- ・CS530: 専用カードNCC2/NCT2、Felica、MIFAREのカードとテンキー操作を併用したCS130の高機能モデル

アツミ電気

URL: www.atsumi.co.jp

☎: 053-428-4111



■ F シリーズIPカメラ DynaHawk 720/820

- ・ソニー製プログレッシブ・スキャンCMOSセンサ
- ・18倍/20倍/30倍の光学ズーム
- ・12倍のデジタルズーム
- ・ウルトラWDR (96dB以下)
- ・フルHD 1,080pリアルタイムとD1リアルタイムのストリーミング
- ・ノイズ除去
- ・IP66規格(820シリーズ)
- ・ONVIF対応

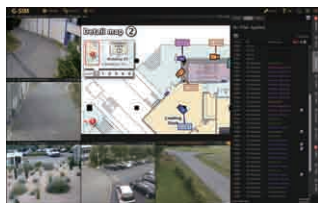


DynaColor/台湾

Email: info@dynacolor.com.tw

■ セキュリティ情報管理システム G-SIM

- ・接続拠点数に完全に対応
- ・直観的な操作によるインタフェイス
- ・シームレスに統合された映像壁面ソリューション
- ・実況表示と再生映像用の完全な映像ストリーム
- ・配置図や映像、関連情報を備えた効率的な警報管理



Geutebruck/ドイツ

Email: info@geutebruck.com

■ ドームIPカメラ GCI-H0812W

- ・HD720Pストリーミングによる2メガピクセル・ネットワークカメラ
- ・H.264 とMJPEG圧縮方式対応(最大25fps)
- ・ONVIF対応
- ・f = 4mmのレンズ
- ・SD/SDHCカードスロット
- ・プラスチックの筐体



Grundig/ドイツ

Email: info@grundig.com

■ IPアクセス・コントロール アクセス800

- ・電力とデータとの両方に対応したIEEE 802.3af仕様PoE対応のネットワーク基盤
- ・統合ANSI/BHMAロック、シリンダ・ロック、彫込錠および出口装置で利用可能
- ・ネットワーク状態を問わずローカルの意思決定操作を保証
- ・内蔵のドア・ステータス・モニタリングとリアルタイムの設定可能なアラーム通知
- ・リアルタイム通信で監禁を含むアクセス・コントロール機能をオンラインで提供。
- ・2,400ユーザと10,000イベント・データ



HID Global (Assa Abloy)/米国

Email: customerservice@hidglobal.com

■ アナログカメラ・シリーズ 720TV本PICADIS

- ・1/3インチPICADIS搭載
- ・有効値1,280(H) x 960(V)の1.3メガピクセル・センサ
- ・デイ/ナイト
- ・0.1ルクス/F1.2の3.6/6/8/12/16mm固定レンズ
- ・EXIR 技術によるIR距離20/40/80m
- ・スマートIRと高ダイナミック・レンジ
- ・優れた画質出力と超低照度対応
- ・-40 °C to 60 °Cと幅広い温度範囲
- ・IP66規格適合



Hikvision/中国

Email: sales@hikvision.com

■ 高精細フルHDシャーシカメラ DI-SC221

- ・映像出力フルHD1080/30p,25p対応
- ・光学20倍オートフォーカス・ズームレンズ搭載
- ・最低被写体照度0.4lx
- ・強光補正
- ・オート・デフラグ機能
- ・ワイド・ダイナミック・レンジ



日立製作所 インフラシステム社

Mail: chassis.cameras@ml.itg.hitachi.co.jp

■ ブルートゥース・アクセス・コントローラ RAC-920 BM

- ・ブルートゥースとMifareモジュール搭載
- ・RS-485によるハード&ソフト設定
- ・アンドロイドのアプリによるブルートゥース識別
- ・1,024ある有効数



Hundure Technology/台湾
Email: overseas@hundure.com

■ HD-SDI DVR RHD1613B 16CH

- ・16台のHD-SDIカメラ(1080p/1080i/720p/720i)にリアルタイム対応
- ・HDMI/VGA の出力
- ・2つのモニタの個別出力と設定が可能
- ・実況表示/再生/録画用3系統ストリーム
- ・6インチHDDとeSATAに対応
- ・Mac OS、WP7.8、iOS、Android対応
- ・タッチ式モニタ対応



iCatch/台湾
Email: marketing@icatchinc.com

■ 5メガピクセル砲丸型カメラ

- ・5メガ・プログレッシブ・スキャン・センサ
- ・SD、HD 720p、HD 1,080p、2メガ、5メガ解像度
- ・H.264エンコーダ4台で4か所個別に映像を設定
- ・MicroSDカードスロット内蔵で当社製NVRと別個に録画
- ・高度に最適化されたカメラ・ファームウェアを備えたDNA
- ・ONVIFプロファイル適合



IndigoVision/英国
Email: info@indigovision.com

■ ネットワークカメラ用録画・配信サーバ「ネカ録」NS-3800/NS-5800

- ・異常検知機能を強化した最大クラスのHDD内蔵
- ・大幅に機能強化したビューア・ソフト
- ・最新ネットワークカメラに対応
- ・H.264/AVCの間引き(フレーム)録画をサポート
- ・ユーザ権限を細かく設定可能
- ・特定日の録画スケジュールを変更可能
- ・RAID6とホットスワップ機能を搭載
- ・最高25万6千台のカメラを一元管理



三菱インフォメーションテクノロジー
URL: www.mdit.co.jp
☎: 03-6414-8180

■ デジタル双眼鏡 RICOH NV-10A

- ・1/3インチ・カラーCMOSセンサ
- ・双眼鏡倍率: 約6.6倍~13.2倍
- ・大気障害除去機能および暗視機能
- ・電子式手ブレ補正機能
- ・GPS機能と電子コンパスによる方位
- ・日付設定
- ・IP64対応の防塵防水性
- ・SDHC対応SDカードスロット
- ・使用環境-10~+50℃



リコー
URL: www.ricoh.co.jp/fa_security/security/binocular/nv-10a/
☎: 045-477-1551

■ 小型防爆型ネットワーク・ドームカメラ

- ・小型設計
- ・フルHD 1,080p/30fps解像度
- ・IR LED付きデイ/ナイト対応小型防爆ドーム
- ・IK10 とIP66規格適合



Sunell Technology/中国
Email: sales@sunellsecurity.com

■ 屋内動体モニタ

- ・夜間で最大約7mまでのIR照射
- ・コントロール・パネルによる軍基準のRF
- ・低いビデオ・アラームで4年の電池寿命:
- ・スマートフォン・アプリで遠隔施錠が可能フル VGAカラー
- ・進行中の犯罪に対応できる3倍速い映像送信
- ・プログラム可能な人感検知



Videofied/米国
Email: usasales@rsivideotech.com

■ ULISSE NETCAM

- ・ONVIFプロファイルSとRS485シリアポートと互換
- ・パンで0.02度/秒から100度/秒、チルトで0.02度から40度/秒の可変速度;
- ・パンで0.02度/秒から40度/秒、チルトで0.02度から40度/秒でUPTIRNによるLED照明を動作
- ・連続的な水平回転、+90度から-40度の範囲での垂直回転
- ・小型レンズを内蔵
- ・最大250のプリセット
- ・可動温度-20℃から60℃まで
- ・230 V、24 V、120 Vのいずれかによる電源供給



Videotec/イタリア
Email: sales@videotec.com

読者の声

エレベータに記載されている「監視」は何を監視しているのか？

日頃何気なく目にしているエレベータ内にある「遠隔監視」の文字。これには2つの解釈がある。1つはエレベータ内の映像監視、もう1つエレベータ作動状況などのシステム監視。しかし、エレベータ・メーカーは後者の意味で記載している。しかし、ユーザは監視カメラが付いていると誤解しているだろう。誤解を招かないために、「作動状況遠隔監視」と表記すべきではないだろうか。
(東京 設置工事業)

ネットワークの基本からIPまで分かりやすい情報を

ネットワークカメラの重要性が認識されてきているが、その根幹であるネットワークからIPについては、断片的にしか理解できていない産業従事者もいる。そこで、貴誌上でイロハのイから連載記事で解説してもらえるとありがたい。さらに、その連載記事については、貴社のHPで独立して連続して読めるようにしていただきたい。そうすれば、途中から読み始めた場合でも1回目から読むことができる。
(名古屋 電気工士)

導入事例をもっと掲載してほしい

導入事例は、産業従事者にとっても導入者側にとっても非常に参考になる情報である。しかし、貴誌では毎月1例ないし2例しか掲載されていない。もっと数多くの事例を掲載していただきたい。それが誌面の都合で厳しいと言えども、貴社HPで紹介することを考えてはどうだろうか。その場合、業種別や分野別に分類してもらえると検索しやすくなるだろう。
(神奈川 流通業)

訂正のご案内

弊誌7月号で下記の通り訂正いたします。なお、電子版は修正済みです。

47P 連載：生体認証

誤 管理PCで登録と履歴表示と写真を並列にするなど検索が可能。
正 管理PCで登録と履歴表示と検索が可能。

63P 新製品欄 モトローラ・ソリューションズ

誤 URL：www.motorolasolutions.com

正 URL：http://www.motorolasolutions.com/JP-JA/Home

「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報が漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL：03-6206-0448

FAX：03-6206-0452

MAIL：info@asj-corp.jp

第22回 セキュリティ・安全管理総合展

SECURITY SHOW 2014

同時開催

特別企画展 **労働安全衛生EXPO**

協力：中央労働災害防止協会

2014年 3月4日(火) ▶ 7日(金)

東京ビッグサイト [東2・3ホール]

主催：日本経済新聞社

出展社 募集中



募集要項

出展料金：1小間あたり 367,500円 + サイト参加料 1社 52,500円 (税込み)

申込締切：2013年10月15日(火)

募集小間数：190社 540小間(予定)

来場者数：150,000人(見込み)

お問い合わせ

SECURITY SHOW 事務局

TEL 03-6256-7355

詳細と出展案内のご請求は

<http://www.securityshow.jp/>から



耐衝撃型赤外線内蔵ドームカメラ

LCD-50VF 近日発売

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 赤外線LED 赤外線LED18個(850nm, 30')、センサー1個
 赤外線照射距離 最大15m
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能
 その他 耐衝撃型

デイナイトボックスカメラ

BBD-50F 近日発売

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、エクリプス、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能



全天候小型デイナイトカメラ

WCD-50VF NEW

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、SBLC(逆光補正)、モーション機能
 その他 同型のダミーカメラ(WCD-20VFD)もごさいます。

High Resolution Camera with Effio™

NEW PRODUCTS LINEUP

52万画素、洗練されたデザイン、最上画質！
 より鮮明な映像を可能にする960H CCDによる
 700TV本の高解像度！



バリフォーカルレンズ内蔵ドームカメラ

DBD-50VFA 近日発売

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 走査方式 2:1 インターレース
 レンズ DC アイリスバリフォーカルレンズ内蔵
 (f=2.8 ~ 10.5mm)
 レンズ画角 H78°×V62° ~ H26.1°×V19.9°
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能

バリフォーカルレンズ内蔵ドームカメラ(マイク付)

DBD-50VFA 近日発売

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 走査方式 2:1 インターレース
 レンズ DC アイリスバリフォーカルレンズ内蔵 (f=2.8 ~ 10.5mm)
 レンズ画角 H78°×V62° ~ H26.1°×V19.9°
 音声出力 3Vp-p(最大), 45dB(typ.)
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能、マイク内蔵



バリフォーカルレンズ内蔵ドームカメラ(広角タイプ)

DBD-50VDW 近日発売

撮像素子 1/3 インチ高感度 960H CCD
 総解像度 52 万画素 1028(H)×508(V)
 水平解像度 超高解像度 700TV本
 走査方式 2:1 インターレース
 レンズ DC アイリスバリフォーカルレンズ内蔵 (f=2.5 ~ 6.0mm)
 レンズ画角 H108.2°×V80.4° ~ H47.6°×V35.6°
 機能 WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ)、フリッカーレス、デイ&ナイト(ICR)、デジタルノイズリダクション、プライバシーゾーン、ミラー機能、BLC(逆光補正)、モーション機能



CNB 製品のお問い合わせは

CNB CNB Technology Inc. 日本総販売代理店

TP TENPO PLANNING 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部

関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社

〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモモビル2階

TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp

販売代理店募集中

製造元 CNB Technology Inc.